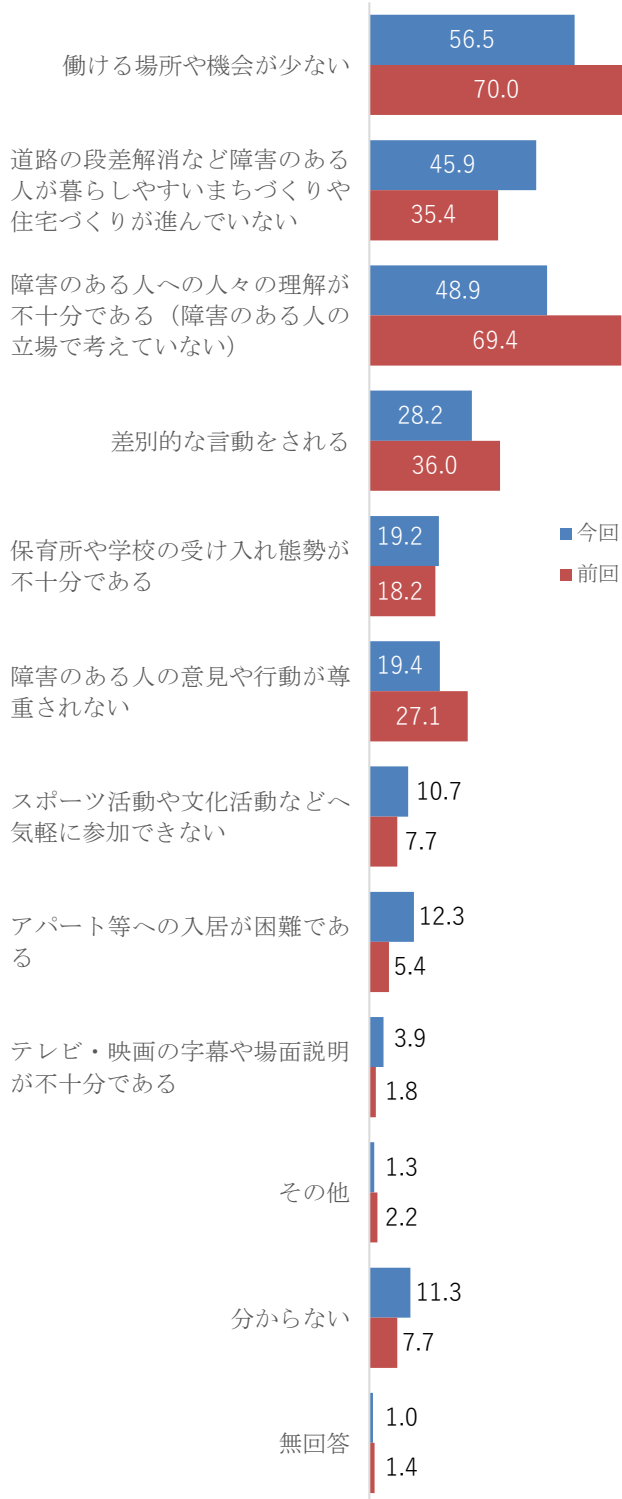


問9 障害のある人の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなときですか。(〇はいくつでも)

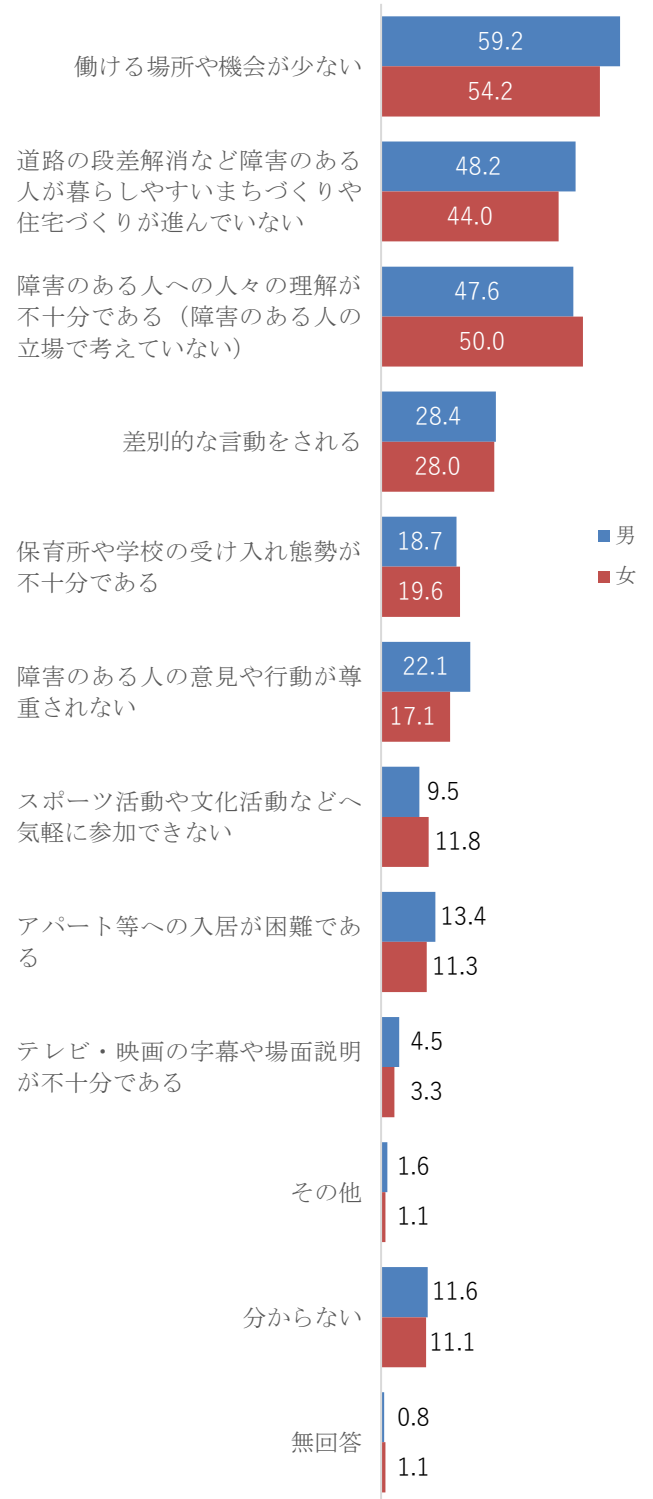
(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代比較							
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
1 働ける場所や機会が少ない	469 56.5%	225 59.2%	244 54.2%	9 52.9%	28 52.8%	45 54.9%	65 53.7%	64 55.7%	111 61.3%	147 56.3%	
2 道路の段差解消など障害のある人が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいない	381 45.9%	183 48.2%	198 44.0%	7 41.2%	13 24.5%	38 46.3%	47 38.8%	50 43.5%	99 54.7%	127 48.7%	
3 障害のある人への人々の理解が不十分である(障害のある人の立場で考えていない)	406 48.9%	181 47.6%	225 50.0%	13 76.5%	32 60.4%	47 57.3%	68 56.2%	60 52.2%	88 48.6%	98 37.5%	
4 差別的な言動をされる	234 28.2%	108 28.4%	126 28.0%	11 64.7%	29 54.7%	38 46.3%	34 28.1%	32 27.8%	41 22.7%	49 18.8%	
5 保育所や学校の受け入れ態勢が不十分である	159 19.2%	71 18.7%	88 19.6%	5 29.4%	6 11.3%	18 22.0%	30 24.8%	28 24.3%	41 22.7%	31 11.9%	
6 障害のある人の意見や行動が尊重されない	161 19.4%	84 22.1%	77 17.1%	7 41.2%	13 24.5%	17 20.7%	21 17.4%	18 15.7%	35 19.3%	50 19.2%	
7 スポーツ活動や文化活動などへ気軽に参加できない	89 10.7%	36 9.5%	53 11.8%	4 23.5%	5 9.4%	11 13.4%	11 9.1%	12 10.4%	17 9.4%	29 11.1%	
8 アパート等への入居が困難である	102 12.3%	51 13.4%	51 11.3%	2 11.8%	3 5.7%	12 14.6%	19 15.7%	15 13.0%	20 11.0%	31 11.9%	
9 テレビ・映画の字幕や場面説明が不十分である	32 3.9%	17 4.5%	15 3.3%	0	2 3.8%	3 3.7%	6 5.0%	4 3.5%	7 3.9%	10 3.8%	
10 その他	11 1.3%	6 1.6%	5 1.1%	0	2 3.8%	1 1.2%	4 3.3%	2 1.7%	1 0.6%	1 0.4%	
11 分からない	94 11.3%	44 11.6%	50 11.1%	0	5 9.4%	9 11.0%	15 12.4%	11 9.6%	18 9.9%	36 13.8%	
無回答	8 1.0%	3 0.8%	5 1.1%	0	0	1 1.2%	0	0	2 1.1%	5 1.9%	
回答者計	830	380	450	17	53	82	121	115	181	261	

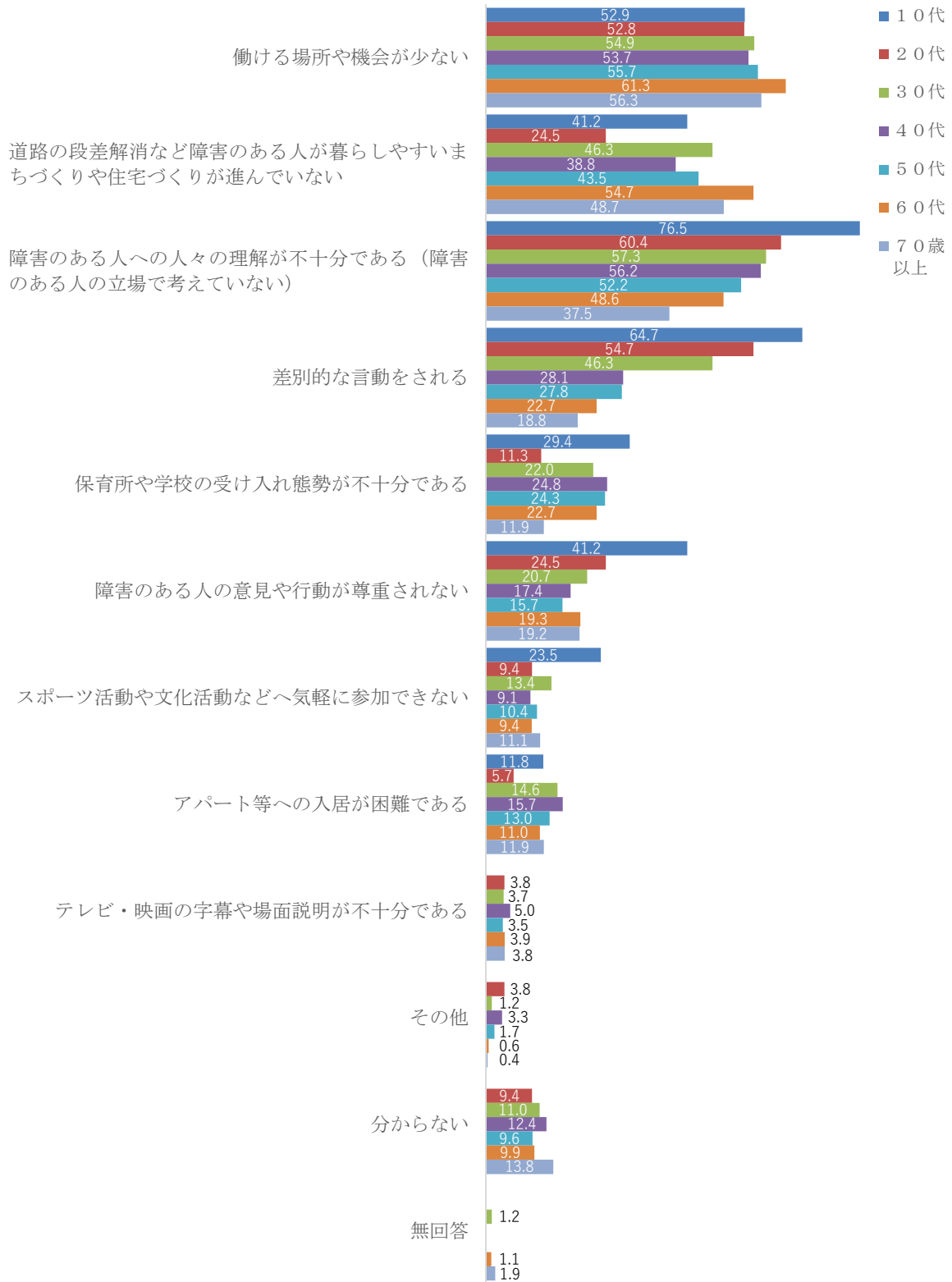
●前回調査との比較



●男女比較



●年代比較



## ●選択肢「その他」の内容

- ・感じたことはない
- ・特に障害者の人権が尊重されていないとは思わない
- ・結婚できない可能性大
- ・身内による黙殺
- ・まず障害のある人がどのような点において尊重されていないのかを感じたということを発信し、それを受けとめるメディアや場所が少ない気がする
- ・専門の知識を持った先生が保育園から学校まで少なかった
- ・障害のある人が身近にいないのでどのような困難があるのか分からない。障害によって困難に感じることは違うのではないかと思う
- ・健常者と同じ賃金では雇用できない。同じにしたら健常者への差別になる
- ・「障害を持っている」とはどんな事なのか、知ってもらう機会を子どもの頃から教育に必須とする
- ・直接自分で見たりすることがないので分からないが、TV等の報道で知る
- ・バリアフリーではない。障害があることを普通に公表できない

## 【結果の分析】

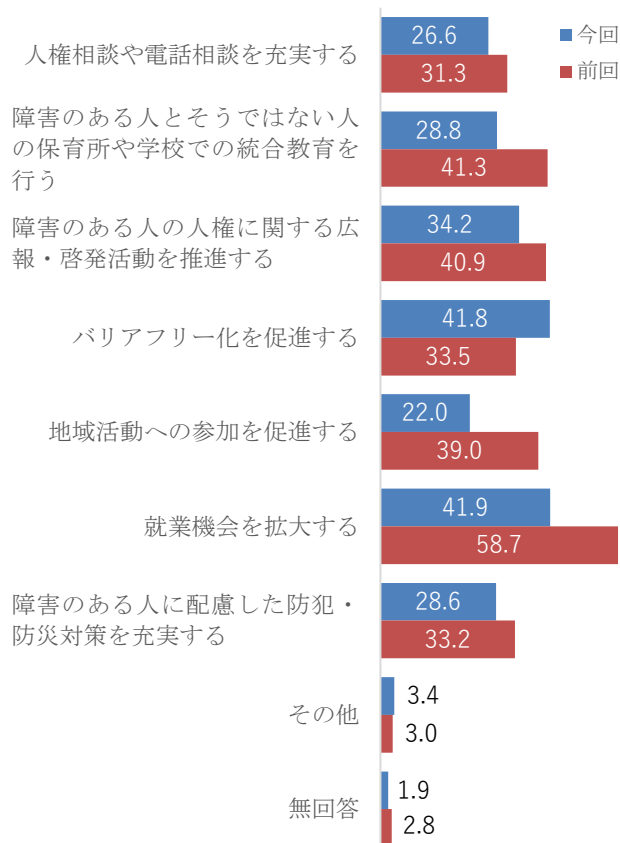
- 「働ける場所や機会が少ない」が56.5%と前回の70.0%から減少したものの、引き続き最も高かった。
- 続いて「理解が不十分である」が48.9%で、前回の69.4%から大きく減少した。
- そのほかでは「ハード面の未整備」や「差別的な言動をされる」が上位にあり、また、「その他」の自由記述に「障害者の実情が分からない」といった意見も多くあった。
- このことから障害のある人の実情や問題解消への取組の必要性について、市民啓発に取り組む必要がある。

問 10 障害のある人の人権を守るためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

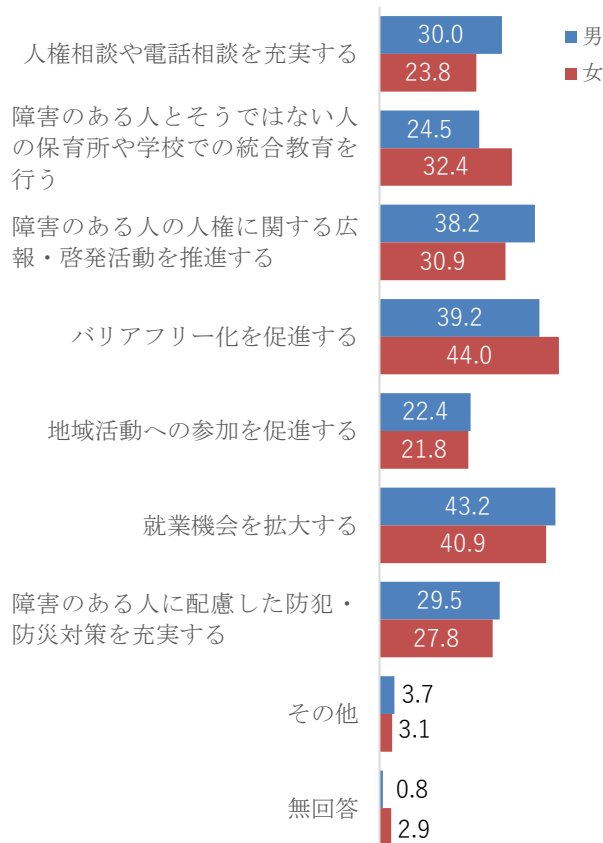
(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代比較						
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1 人権相談や電話相談を充実する	221 26.6%	114 30.0%	107 23.8%	3 17.6%	13 24.5%	19 23.2%	23 19.0%	21 18.3%	59 32.6%	83 31.8%
2 障害のある人とそうではない人の保育所や学校での統合教育を行う	239 28.8%	93 24.5%	146 32.4%	4 23.5%	14 26.4%	32 39.0%	52 43.0%	39 33.9%	43 23.8%	55 21.1%
3 障害のある人の人権に関する広報・啓発活動を推進する	284 34.2%	145 38.2%	139 30.9%	5 29.4%	17 32.1%	22 26.8%	37 30.6%	33 28.7%	72 39.8%	98 37.5%
4 バリアフリー化を促進する	347 41.8%	149 39.2%	198 44.0%	13 76.5%	26 49.1%	36 43.9%	47 38.8%	47 40.9%	74 40.9%	104 39.8%
5 地域活動への参加を促進する	183 22.0%	85 22.4%	98 21.8%	1 5.9%	10 18.9%	19 23.2%	25 20.7%	20 17.4%	39 21.5%	69 26.4%
6 就業機会を拡大する	348 41.9%	164 43.2%	184 40.9%	7 41.2%	17 32.1%	39 47.6%	50 41.3%	48 41.7%	86 47.5%	101 38.7%
7 障害のある人に配慮した防犯・防災対策を充実する	237 28.6%	112 29.5%	125 27.8%	7 41.2%	15 28.3%	16 19.5%	24 19.8%	25 21.7%	59 32.6%	91 34.9%
8 その他	28 3.4%	14 3.7%	14 3.1%	1 5.9%	2 3.8%	4 4.9%	5 4.1%	8 7.0%	5 2.8%	3 1.1%
無回答	16 1.9%	3 0.8%	13 2.9%	0	0	2 2.4%	0	0	6 3.3%	8 3.1%
回答者計	830	380	450	17	53	82	121	115	181	261

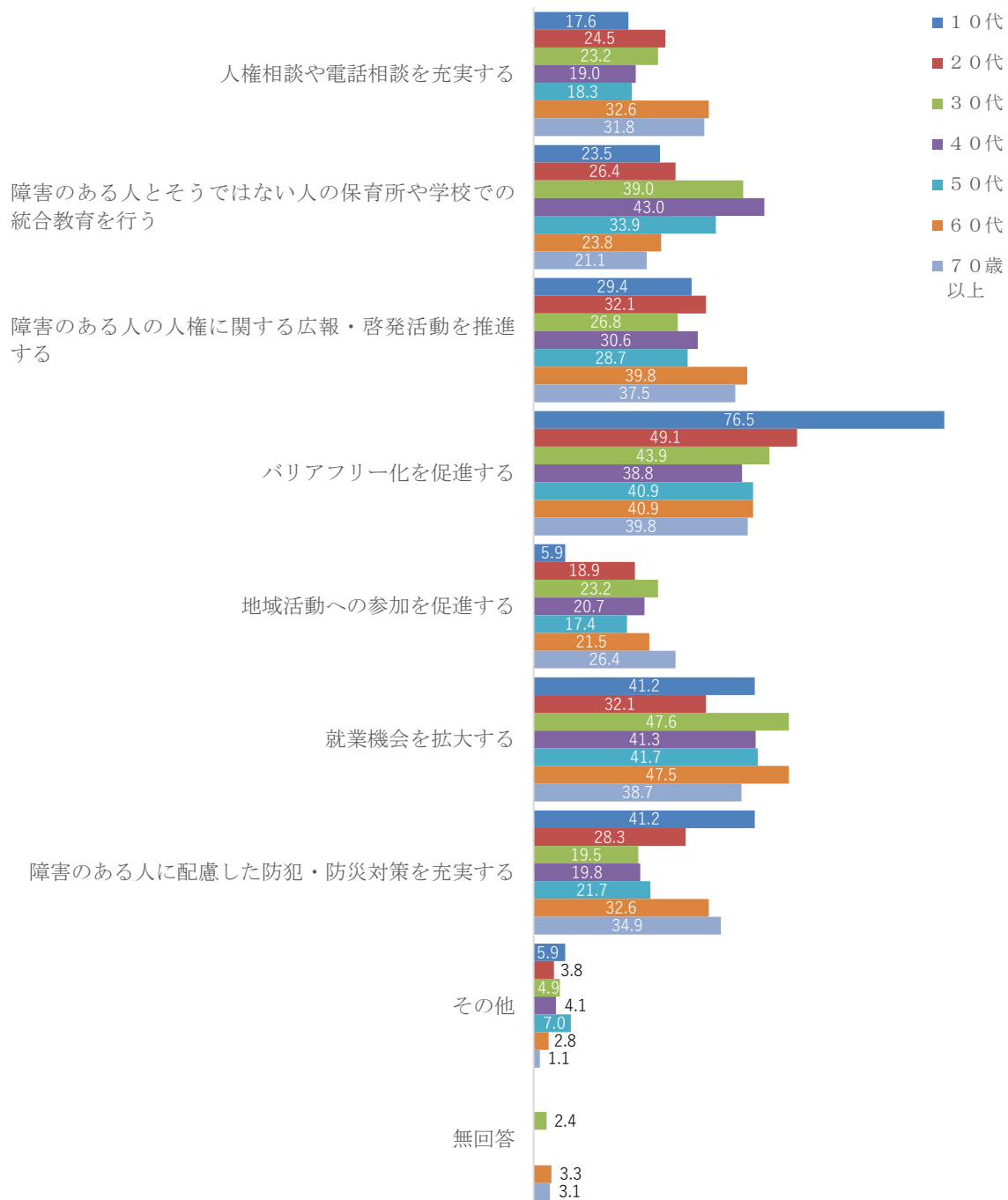
●前回調査との比較



●男女比較



## ●年代比較



## ●選択肢「その他」の内容

- ・教育機関や企業に障害のある方の特性を理解してもらう為に努力する
- ・障害のある人の人権を侵害した場合の罰則の強化
- ・必要ない
- ・学校での教育、理解を高める
- ・レッテルを貼っているのは社会全体
- ・障害のある人も進んで活動への参加を多くし、親の教育充実を図る
- ・当事者側への周知、当事者側が一番理解できてない
- ・皆が障害を知る
- ・障害のある人がどう考えているのか分からないので、思っていることや考えていることをもっと発信できる場があると良い。それを私達が知ることが大切
- ・近隣に障害者がいないため、悩みがよく分からない
- ・専門知識のある方が少ない。福祉交流プラザまで行かずに近くで相談できたら心強い
- ・幼稚園や小学校など、差別意識がない幼い頃から同じ場所で過ごし、学ぶことが良い

- ・雇用助成金の拡大
- ・人権に関する教育
- ・ハンディがあるのに生活している事をリスペクトするよう教育してほしい
- ・誰もが相手の立場を考え、理解する共感力の育ち
- ・「障害を持っている」とはどんな事なのか、知ってもらう機会を子どもの頃から教育に必須とする
- ・障害のある人を見たことがない
- ・道徳の教育
- ・小・中・高校それぞれで「障害」について教育する時間を増やす
- ・社会が大人になる
- ・障害者一人一人が何を求めているか、その要求に応える

#### 【結果の分析】

- 前問の回答を反映し、「**就業機会の拡大**」が41.9%と、前回の58.7%から減少したものの、引き続き最も高かった。障害者雇用促進法の改正に伴い、障害者の法定雇用率は段階的に引き上げられているが、一層の雇用機会の充実が求められている。
- 次に「**バリアフリー化の推進**」が41.8%、続いて「**啓発活動の推進**」が34.2%で上位となった。
- 「**保育所や学校で統合教育を行う**」が28.8%と上位4番目であり、「**その他**」の自由記述においても障害者理解に向けた教育・啓発を求める意見が多くあったことから、引き続き教育・啓発に取り組む必要がある。
- そして、バリアフリー化の促進や企業に対する雇用の呼びかけと併せて、障害のある人に対する理解促進に向けて、引き続き市民啓発に取り組む必要がある。

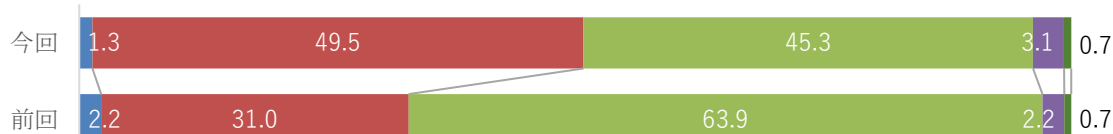
問 11 母親であるAさんは、子育てが一段落したので働きに出ようと考えています。しかし夫のBさんは、Aさんには家事に専念してほしいと考え、働くことに反対しました。このことについて、どう思いますか。(○は1つだけ)

(上段：回答数、下段：回答率)

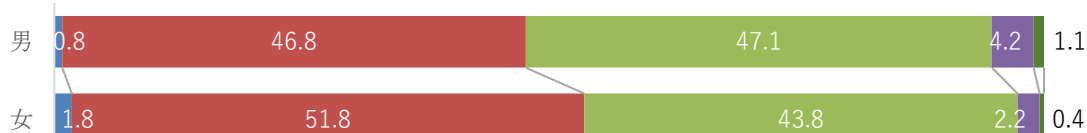
選択肢	全体	男女比較		年代比較						
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1	11 1.3%	3 0.8%	8 1.8%	1 5.9%	0	0	0	1 0.9%	0	9 3.4%
2	411 49.5%	178 46.8%	233 51.8%	13 76.5%	33 62.3%	51 62.2%	54 44.6%	56 48.7%	90 49.7%	114 43.7%
3	376 45.3%	179 47.1%	197 43.8%	2 11.8%	19 35.8%	26 31.7%	64 52.9%	55 47.8%	86 47.5%	124 47.5%
4	26 3.1%	16 4.2%	10 2.2%	1 5.9%	1 1.9%	4 4.9%	2 1.7%	3 2.6%	4 2.2%	11 4.2%
無回答	6 0.7%	4 1.1%	2 0.4%	0	0	1 1.2%	1 0.8%	0	1 0.6%	3 1.1%
回答者計	830 99.9%	380 100.0%	450 100.0%	17 100.1%	53 100.0%	82 100.0%	121 100.0%	115 100.0%	181 100.0%	261 99.9%

- 女性が家事に専念することは当然のこと
- 男女平等なのだから、男性は仕事、女性は家事に専念するという考え方はおかしい
- いちがいにはいえない
- 分からない
- 無回答

●前回調査との比較



●男女比較



●年代比較





#### 【結果の分析】

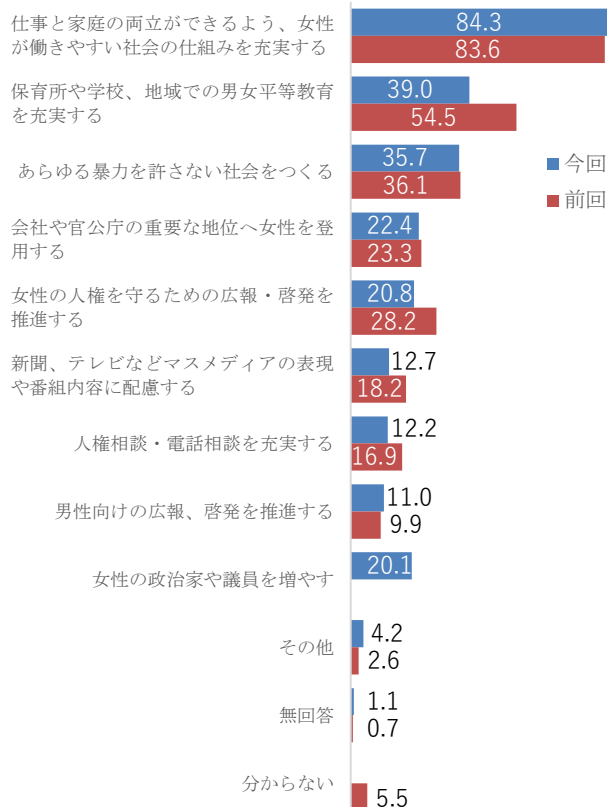
- 「男女平等であり、女性が家事に専念するのはおかしい」が49.5%と、前回の31.0%から18.5ポイント増加した。女性の方が男性よりも5.0ポイント高く、年代が下がるほど男女平等を重んじる傾向が高くなっている。
- 前回より、市民の男女平等に対する意識改善が進んでいると推察する一方で、中高年層で「いちがいは言えない」が増加していることから、その背景を分析するとともに、男女平等参画に対する市民啓発や環境整備に取り組む必要がある。

問 12 女性の人権が尊重されるためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

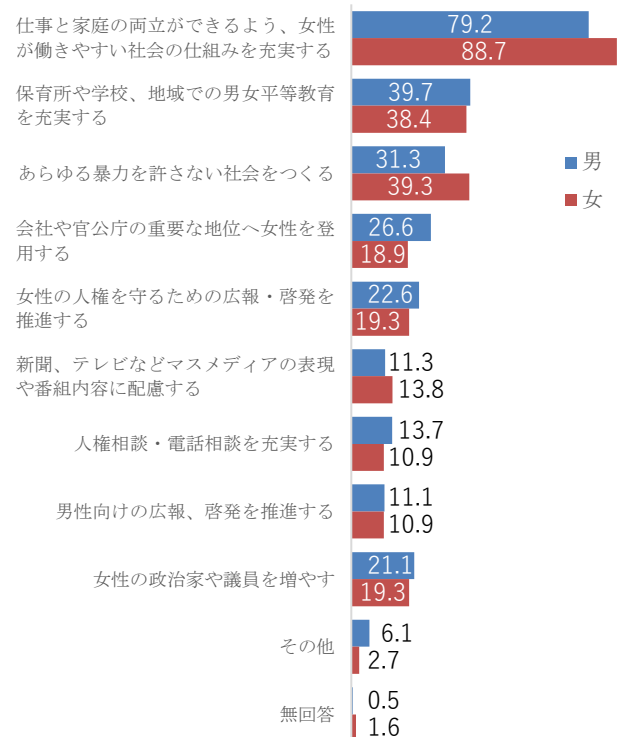
(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代比較						
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1 仕事と家庭の両立ができるよう、女性が働きやすい社会の仕組みを充実する	700 84.3%	301 79.2%	399 88.7%	14 82.4%	41 77.4%	70 85.4%	104 86.0%	93 80.9%	162 89.5%	216 82.8%
2 保育所や学校、地域での男女平等教育を充実する	324 39.0%	151 39.7%	173 38.4%	8 47.1%	22 41.5%	42 51.2%	44 36.4%	34 29.6%	77 42.5%	97 37.2%
3 あらゆる暴力を許さない社会をつくる	296 35.7%	119 31.3%	177 39.3%	9 52.9%	21 39.6%	28 34.1%	46 38.0%	34 29.6%	75 41.4%	83 31.8%
4 会社や官公庁の重要な地位へ女性を登用する	186 22.4%	101 26.6%	85 18.9%	4 23.5%	14 26.4%	24 29.3%	27 22.3%	20 17.4%	33 18.2%	64 24.5%
5 女性の人権を守るための広報・啓発を推進する	173 20.8%	86 22.6%	87 19.3%	4 23.5%	5 9.4%	11 13.4%	19 15.7%	19 16.5%	46 25.4%	69 26.4%
6 新聞、テレビなどマスメディアの表現や番組内容に配慮する	105 12.7%	43 11.3%	62 13.8%	2 11.8%	6 11.3%	10 12.2%	19 15.7%	10 8.7%	26 14.4%	32 12.3%
7 人権相談・電話相談を充実する	101 12.2%	52 13.7%	49 10.9%	1 5.9%	7 13.2%	8 9.8%	9 7.4%	12 10.4%	29 16.0%	35 13.4%
8 男性向けの広報、啓発を推進する	91 11.0%	42 11.1%	49 10.9%	2 11.8%	4 7.5%	9 11.0%	12 9.9%	17 14.8%	21 11.6%	26 10.0%
9 女性の政治家や議員を増やす	167 20.1%	80 21.1%	87 19.3%	7 41.2%	9 17.0%	14 17.1%	18 14.9%	15 13.0%	38 21.0%	66 25.3%
10 その他	35 4.2%	23 6.1%	12 2.7%	1 5.9%	5 9.4%	4 4.9%	6 5.0%	8 7.0%	4 2.2%	7 2.7%
無回答	9 1.1%	2 0.5%	7 1.6%	0	0	0	0	0	3 1.7%	6 2.3%
回答者計	830	380	450	17	53	82	121	115	181	261

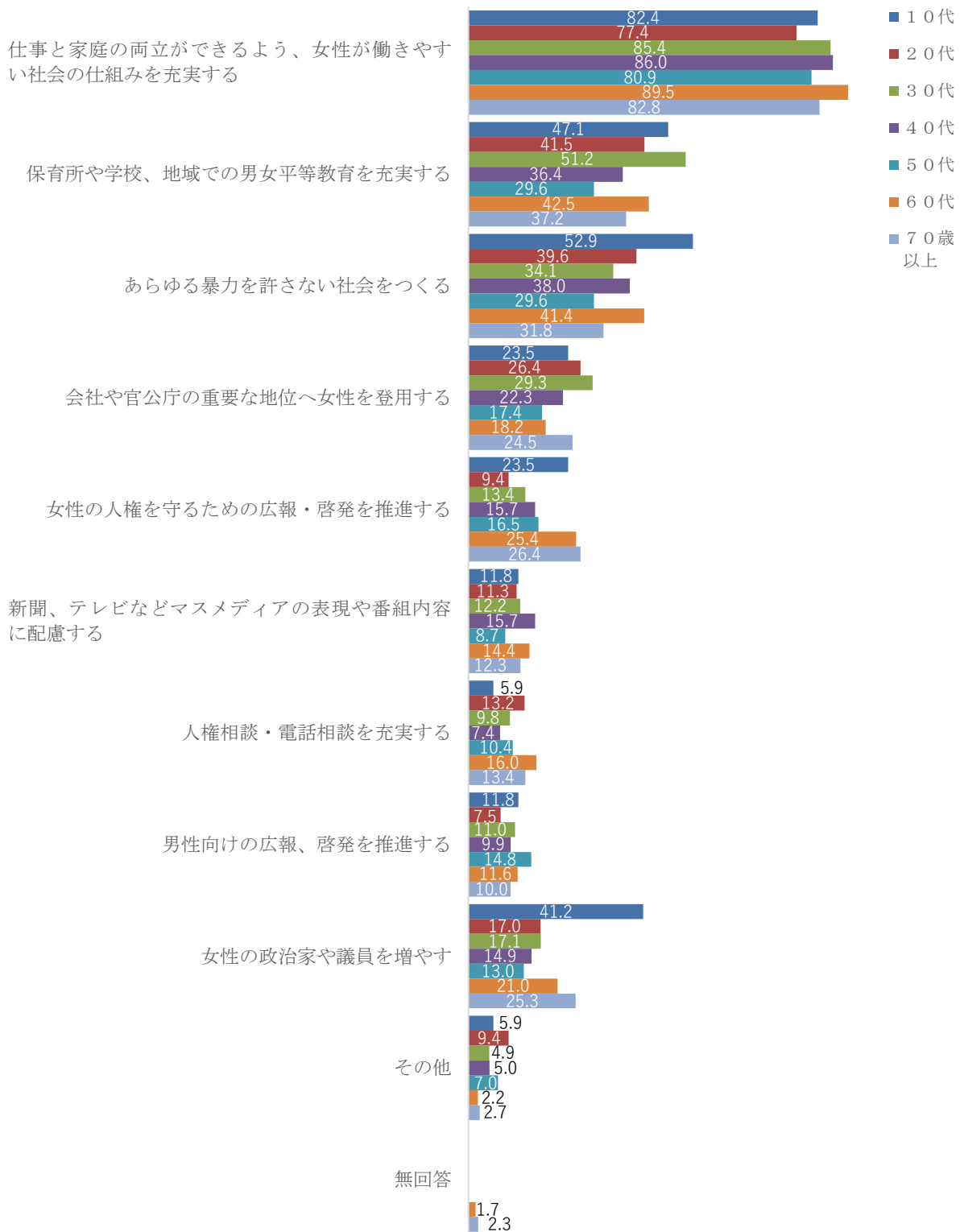
●前回調査との比較



●男女比較



●年代比較



●選択肢「その他」の内容

- ・女性と男性の違いを学び、男性より優れている部分を理解してもらうために努力する
- ・男性の育児休暇を取りやすい社会づくり
- ・女性ということで特別視しない世の中にする
- ・平等という考えを考え直す
- ・尊重されている
- ・女性が活躍していることを発信するロールモデルのアピール、子どものみでなく社会に出ている大人にも理解を高めるように講演会を開催する
- ・国民年金3号被保険者の廃止
- ・身近な人との人間関係の充実

- ・上司との関係のことも推進する
- ・前向きな女性を尊敬すること
- ・子育てしやすい環境づくり
- ・女性を考え、公が知る
- ・女性が尊重される仕事の中で働いてきたので、あまり気にしない
- ・尊重されていないとは思わなかった
- ・女性の人権を尊重するには、男性の職場環境を整える必要がある
- ・女性だから、男性だからということではなく、能力で登用する社会、仕組み
- ・女性と男性の給与に大きな差をつけず、同じ扱いとすること
- ・女性重視は男性軽視になる
- ・男性が家事をしやすい社会の仕組みづくりや価値観の変化
- ・「女性」という括りをなくし、全ての人の人権の問題として取り扱う
- ・男女ともに残業をなくす
- ・「家庭の仕事も男女とも」という考えの定着
- ・女性の言葉の暴力がひどいので問題外
- ・男女は平等だという考え
- ・人権と平等のバランス
- ・男女交互に残業禁止の日をつくる
- ・第三者の介入をさせないこと
- ・女性側の意識改革、重責の回避等
- ・男女それぞれの役割を理解した上で話を進めなければならない
- ・日本の風習と考えが変わらないし、女性も都合上弱いふりをする

#### 【結果の分析】

- 前回と同様に「女性が働きやすい社会の仕組みづくり」が84.3%と圧倒的に高く、特に女性は88.7%と男性の79.2%に対し9.5ポイント高かった。
- 次は「教育の充実」が39.0%、続いて「暴力を許さない社会づくり」が35.7%と続いた。
- 「会社や官公庁の重要な地位への女性の登用」や「女性の政治家や議員を増やす」もそれぞれ20%を超え、上位にある。
- 性別や年代でも大きな差異は見られなかったが、前回に引き続き、年代が上がるに従って男女平等に向けた広報、啓発を重要視している傾向がある。

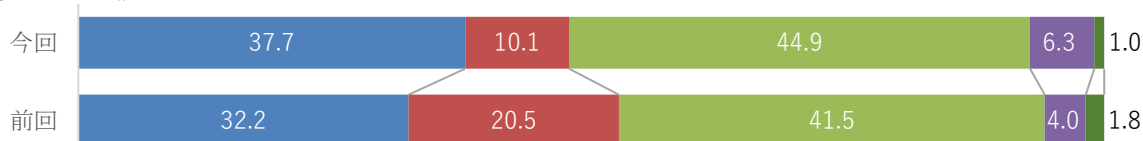
問 13 日本での在留資格を持っている在日外国人が、アパートを探していました。適当なアパートを見つけたので申し込んだところ、外国人であることを理由に、家主は貸すことを断りました。このような家主の態度について、どう思いますか。(○は1つだけ)

(上段：回答数、下段：回答率)

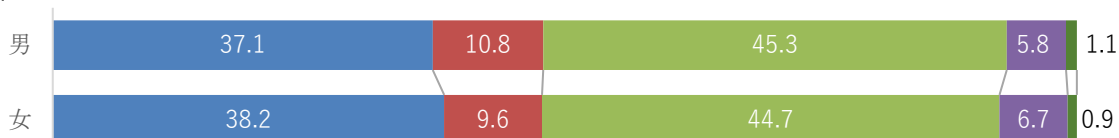
選択肢	全体	男女比較		年代比較							
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
1 外国人という理由でアパートを貸すのを断ることは差別に当たる	313 37.7%	141 37.1%	172 38.2%	16 94.1%	32 60.4%	39 47.6%	48 39.7%	35 30.4%	61 33.7%	82 31.4%	
2 誰に貸すかを決めるのは家主の権利だから、外国人に貸さなくても差別には当たらない	84 10.1%	41 10.8%	43 9.6%	0	5 9.4%	13 15.9%	12 9.9%	12 10.4%	13 7.2%	29 11.1%	
3 いちがいにはいえない	373 44.9%	172 45.3%	201 44.7%	1 5.9%	14 26.4%	26 31.7%	55 45.5%	64 55.7%	93 51.4%	120 46.0%	
4 分からない	52 6.3%	22 5.8%	30 6.7%	0	2 3.8%	4 4.9%	6 5.0%	4 3.5%	12 6.6%	24 9.2%	
無回答	8 1.0%	4 1.1%	4 0.9%	0	0	0	0	0	2 1.1%	6 2.3%	
回答者計	830 100.0%	380 100.1%	450 100.1%	17 100.0%	53 100.0%	82 100.1%	121 100.1%	115 100.0%	181 100.0%	261 100.0%	

- 外国人という理由でアパートを貸すのを断ることは差別に当たる
- 誰に貸すかを決めるのは家主の権利だから、外国人に貸さなくても差別には当たらない
- いちがいにはいえない
- 分からない
- 無回答

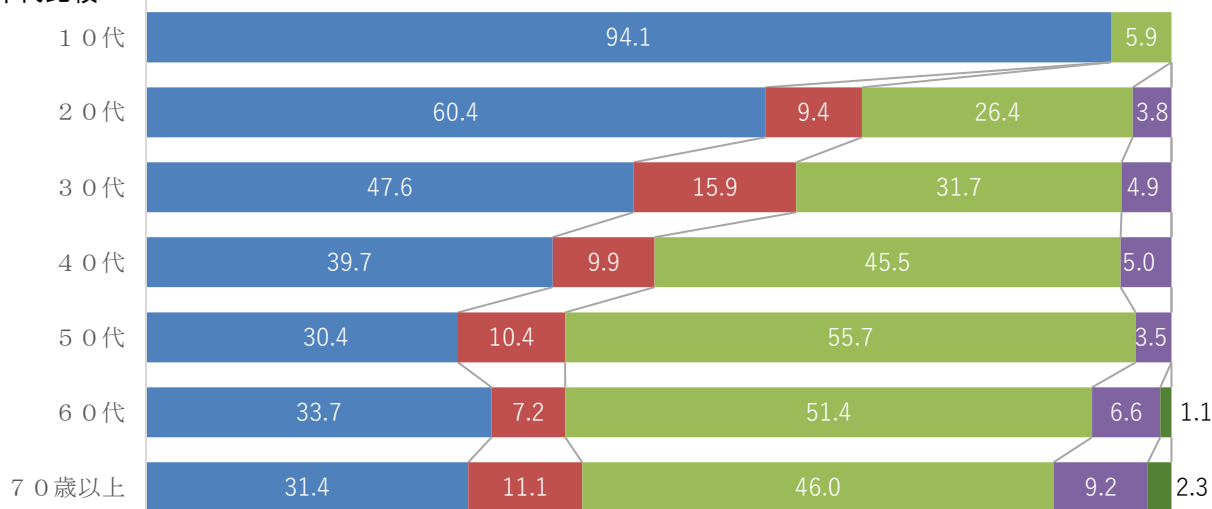
● 前回調査との比較



● 男女比較



● 年代比較



#### 【結果の分析】

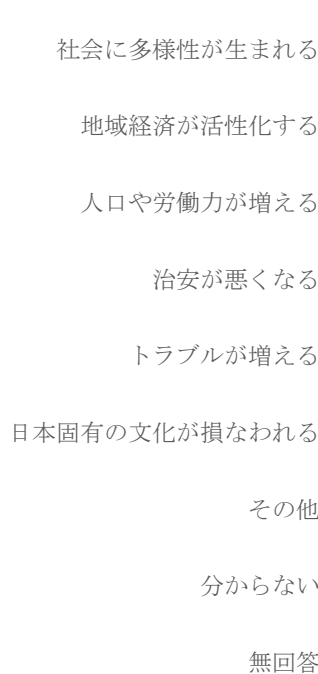
- 「外国人を理由に断るのは差別である」が 37.7%と、前回の 32.2%から 5.5 ポイント増加した。また、「差別には当たらない」が 10.1%と前回の 20.5%から半減した。
- 年代別では年代が若くなるほど「差別である」の比率が高い傾向にある。
- 2019 年の出入国管理法の改正により、市内でも外国人労働者の受け入れが進んでいることを背景に、外国人に対する差別意識は改善傾向にあるものの、6 割以上の市民が「差別である」と回答していない実態から、外国人の人権の尊重に対する市民啓発に取り組む必要がある。
- また、「いちがいにはいえない」が前回から 3.4 ポイント増加しており、その背景を注視していく必要がある。

問 14 地域や職場に外国人市民が増えることで、地域社会にどのような影響があると思いますか。  
(〇はいくつでも)

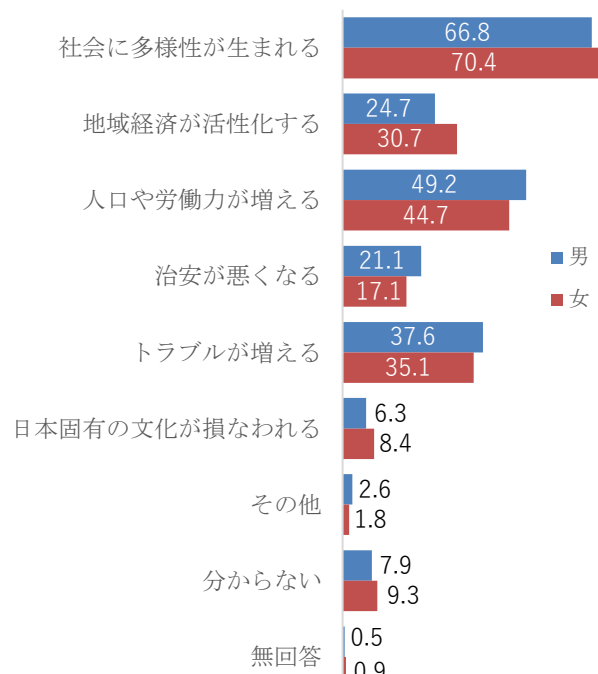
(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代比較							
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
1 社会に多様性が生まれる	571 68.8%	254 66.8%	317 70.4%	16 94.1%	34 64.2%	52 63.4%	97 80.2%	81 70.4%	126 69.6%	165 63.2%	
2 地域経済が活性化する	232 28.0%	94 24.7%	138 30.7%	3 17.6%	15 28.3%	21 25.6%	36 29.8%	38 33.0%	52 28.7%	67 25.7%	
3 人口や労働力が増える	388 46.7%	187 49.2%	201 44.7%	8 47.1%	31 58.5%	37 45.1%	51 42.1%	53 46.1%	89 49.2%	119 45.6%	
4 治安が悪くなる	157 18.9%	80 21.1%	77 17.1%	2 11.8%	8 15.1%	24 29.3%	27 22.3%	22 19.1%	29 16.0%	45 17.2%	
5 トラブルが増える	301 36.3%	143 37.6%	158 35.1%	10 58.8%	26 49.1%	37 45.1%	48 39.7%	36 31.3%	54 29.8%	90 34.5%	
6 日本固有の文化が損なわれる	62 7.5%	24 6.3%	38 8.4%	1 5.9%	6 11.3%	9 11.0%	8 6.6%	8 7.0%	14 7.7%	16 6.1%	
7 その他	18 2.2%	10 2.6%	8 1.8%	0	2 3.8%	3 3.7%	1 0.8%	1 0.9%	2 1.1%	9 3.4%	
8 分からない	72 8.7%	30 7.9%	42 9.3%	0	6 11.3%	6 7.3%	7 5.8%	9 7.8%	14 7.7%	30 11.5%	
無回答	6 0.7%	2 0.5%	4 0.9%	0	0	0	0	0	1 0.6%	5 1.9%	
回答者計	830	380	450	17	53	82	121	115	181	261	

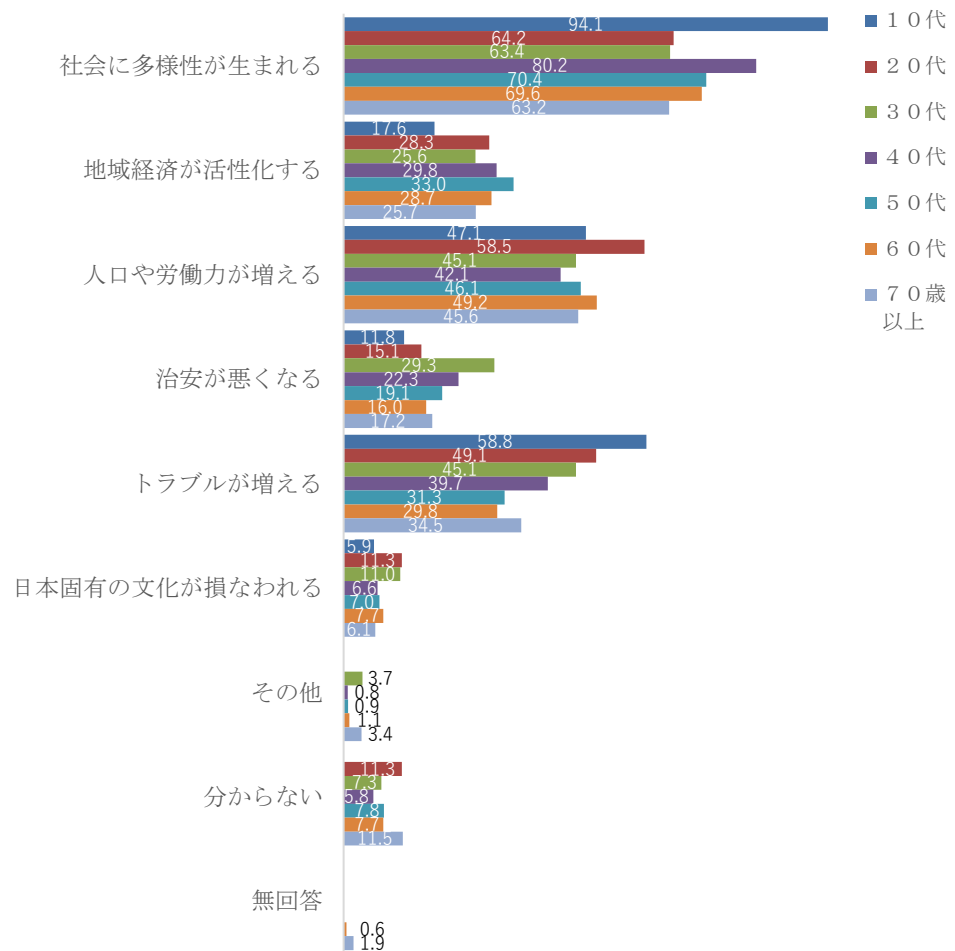
● 今回の調査結果



● 男女比較



## ●年代比較



## ●選択肢「その他」の内容

- ・子ども達が日常英会話をできるようになると良いのではないか
- ・市民の英語力を高める
- ・相手に合わせると言う考えを持たないとできない
- ・自分自身の価値観の変化
- ・それぞれの国の人の考え、価値観が違うので、ルールを理解して（受け入れて）もらえるか？
- ・治安も少し心配
- ・人々の考え方もグローバル化し、良いと思う
- ・不安・不信
- ・文化の違いによる弊害、トラブルが起こる
- ・一部の人（外人）の行動が全てを悪くする
- ・日本人にはない考え方、行動を知る機会が増える
- ・相互理解の機会が増す
- ・外国のメリットを取り入れられる
- ・地域住民の不安
- ・社会として言語を含む多様性を受け入れられるか？
- ・外国人が日本で「何をしても良い」と考えて入国してくることが問題

## 【結果の分析】

- 今回からの新たな設問であるが、回答率が最も高かったのは、「社会に多様性が生まれる」の68.8%、次いで、「人口や労働力が増える」の46.7%、4番目が「地域経済が活性化する」の28.0%と、外国人市民の増加に好意的な回答が比較的上位にある。
- 一方で、上位3番目が「トラブルが増える」の36.3%、5番目が「治安が悪くなる」の18.9%と外国人の増加を不安視する市民がいることを確認できた。
- 引き続き、国際交流団体や関係する企業・町内会等との連携の下、外国人の受け入れ態勢の整備や外国人に対する理解促進に向けた市民啓発に取り組む必要がある。

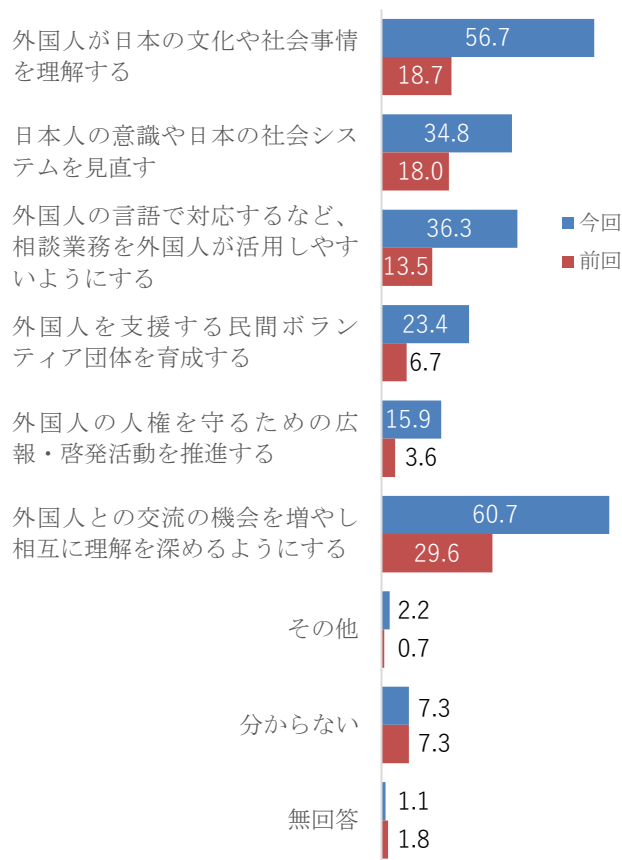


問 15 外国人市民の人権問題を解決するには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

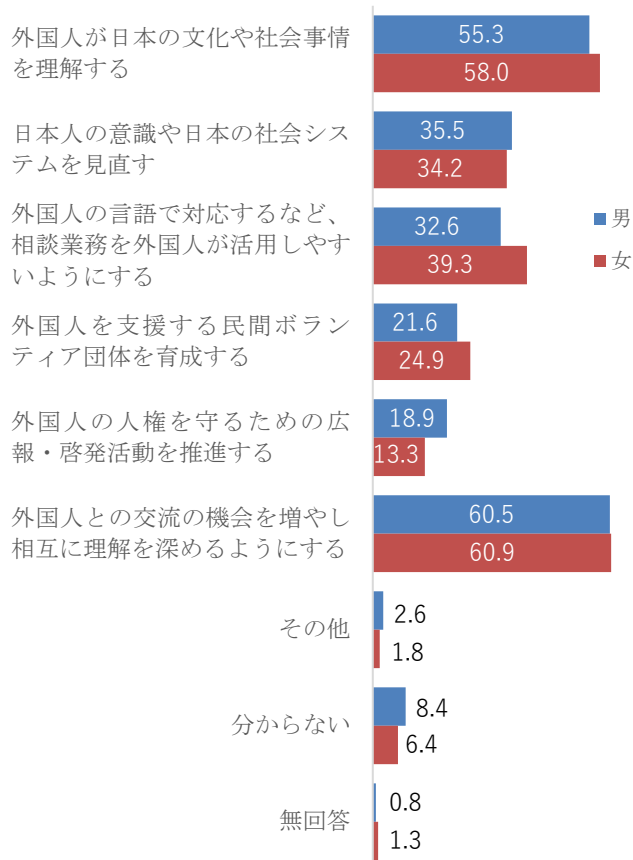
(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代比較							
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
1 外国人が日本の文化や社会事情を理解する	471 56.7%	210 55.3%	261 58.0%	5 29.4%	26 49.1%	42 51.2%	70 57.9%	72 62.6%	112 61.9%	144 55.2%	
2 日本人の意識や日本の社会システムを見直す	289 34.8%	135 35.5%	154 34.2%	12 70.6%	23 43.4%	37 45.1%	55 45.5%	46 40.0%	55 30.4%	61 23.4%	
3 外国人の言語で対応するなど、相談業務を外国人が活用しやすいようにする	301 36.3%	124 32.6%	177 39.3%	7 41.2%	17 32.1%	34 41.5%	48 39.7%	46 40.0%	67 37.0%	82 31.4%	
4 外国人を支援する民間ボランティア団体を育成する	194 23.4%	82 21.6%	112 24.9%	3 17.6%	9 17.0%	16 19.5%	24 19.8%	27 23.5%	50 27.6%	65 24.9%	
5 外国人の人権を守るための広報・啓発活動を推進する	132 15.9%	72 18.9%	60 13.3%	3 17.6%	5 9.4%	9 11.0%	14 11.6%	17 14.8%	32 17.7%	52 19.9%	
6 外国人との交流の機会を増やし相互に理解を深めるようにする	504 60.7%	230 60.5%	274 60.9%	12 70.6%	29 54.7%	45 54.9%	80 66.1%	58 50.4%	111 61.3%	169 64.8%	
7 その他	18 2.2%	10 2.6%	8 1.8%	1 5.9%	4 7.5%	2 2.4%	5 4.1%	3 2.6%	2 1.1%	1 0.4%	
8 分からない	61 7.3%	32 8.4%	29 6.4%	0	2 3.8%	5 6.1%	7 5.8%	5 4.3%	13 7.2%	29 11.1%	
無回答	9 1.1%	3 0.8%	6 1.3%	0	0	0	0	0	3 1.7%	6 2.3%	
回答者計	830	380	450	17	53	82	121	115	181	261	

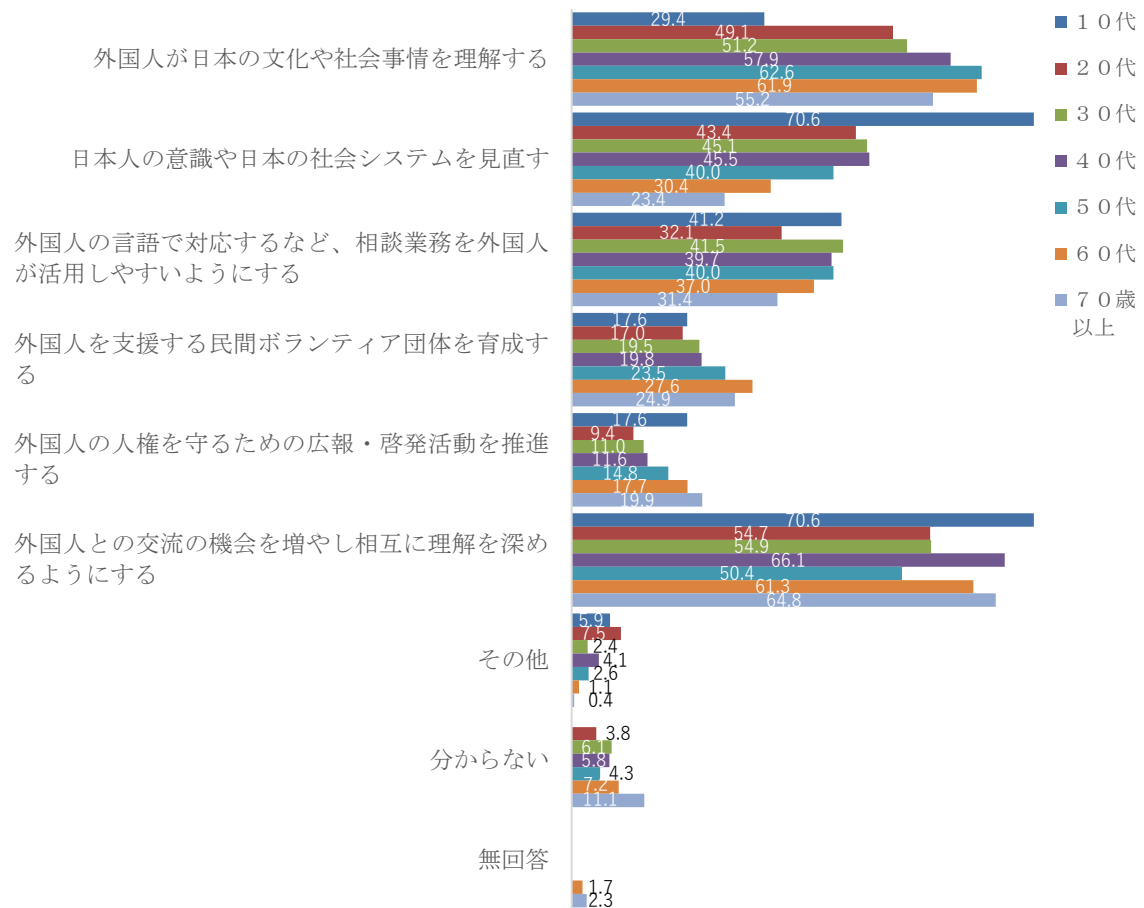
●前回調査との比較



●男女比較



## ●年代比較



## ●選択肢「その他」の内容

- ・日本人特有の文化の広報活動を強化する
- ・外国人との理解を深めるのではなく、その人との理解を深める
- ・外国人の意識を見直す
- ・外国人への日本語の啓蒙活動
- ・日本人が外国人の文化、社会を理解する
- ・外国の文化が分からないし紹介するものがない
- ・日本のルール（マナー）を教える
- ・外国人を受け入れる働き場所を増やす
- ・小中学校における人権教育の充実
- ・言葉の壁の解消
- ・外国人に日本でのマナーを伝える機会をつくる
- ・外国人が日本に大勢こられると困る
- ・外国人はもっと日本語を勉強すべき。日本バッシングをしている国の人達が日本の神様に手を合わせているのは滑稽である
- ・国際交流としては理解したいが、生活保護等の詐欺まがいの行為を目的として来日する人がいるようなので、どうしても偏見の目で見えてしまう。
- ・外国人が日本に住むなら、外国人が日本の法律や制度を理解し学ぶべき

## 【結果の分析】

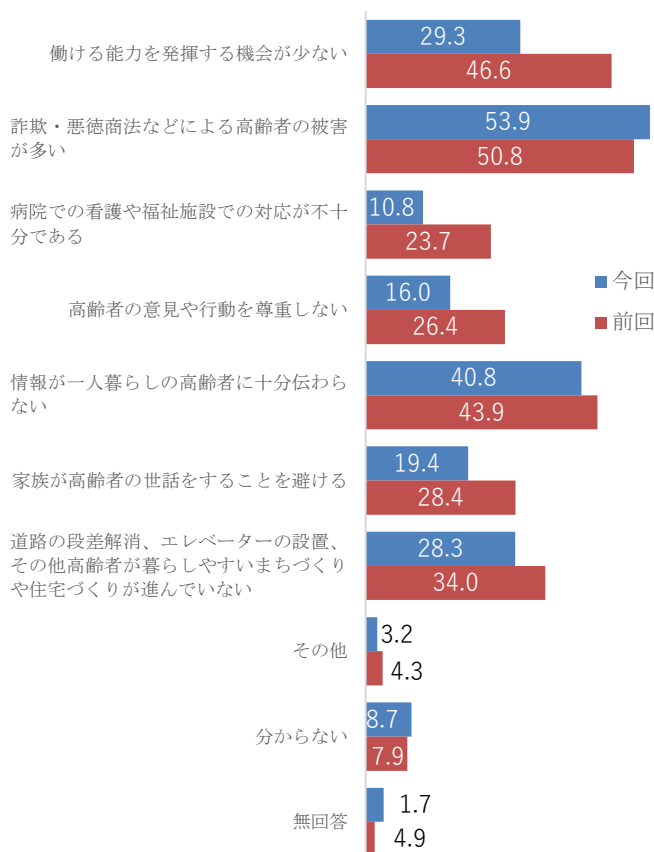
- 前回に引き続き「相互理解を深める」の60.7%が最も高かった。
- 次は「外国人が日本の文化や社会事情を理解する」の56.7%であったが、年代が上がるに従って増加傾向にあることから、高年層ほど自国優先意識が強いものと推察する。
- 続いて高いのは「外国人が相談しやすい体制の整備」の36.3%、4番目が「日本人の意識や社会システムを見直す」の34.8%となっており、外国人を受け入れようという市民意識が芽生えていることから、多文化共生の社会の構築に向けて、相互理解を深める施策に取り組む必要がある。
- 前回までは選択数を1つとしていたが、今回は複数回答に改めた。回答傾向に大きな変化はなかった。

問 16 高齢者の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなときですか。(〇はいくつでも)

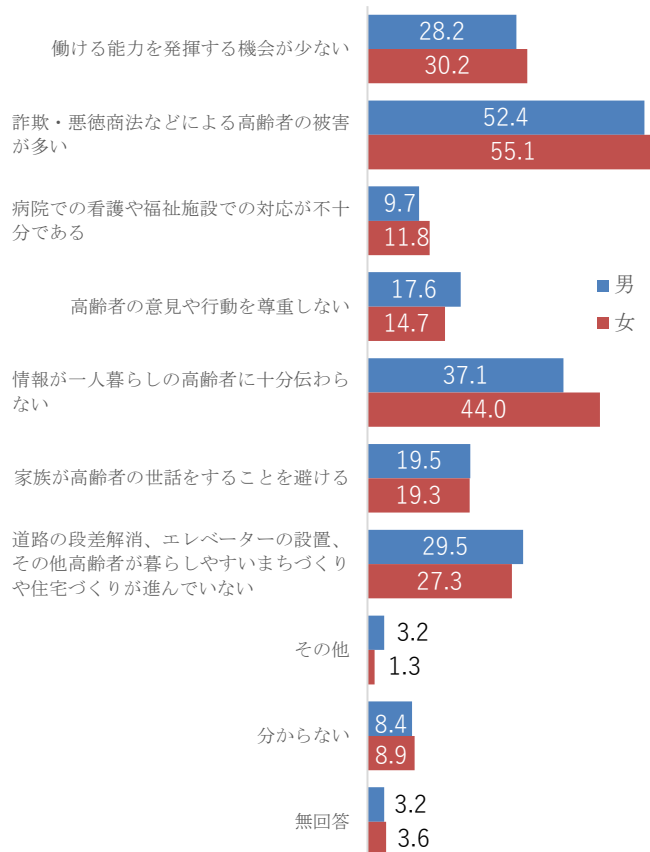
(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代比較						
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1 働ける能力を發揮する機会が少ない	243 29.3%	107 28.2%	136 30.2%	2 11.8%	6 11.3%	25 30.5%	37 30.6%	27 23.5%	60 33.1%	86 33.0%
2 詐欺・悪徳商法などによる高齢者の被害が多い	447 53.9%	199 52.4%	248 55.1%	13 76.5%	26 49.1%	45 54.9%	70 57.9%	63 54.8%	93 51.4%	137 52.5%
3 病院での看護や福祉施設での対応が不十分である	90 10.8%	37 9.7%	53 11.8%	3 17.6%	6 11.3%	12 14.6%	14 11.6%	18 15.7%	21 11.6%	16 6.1%
4 高齢者の意見や行動を尊重しない	133 16.0%	67 17.6%	66 14.7%	3 17.6%	11 20.8%	9 11.0%	12 9.9%	10 8.7%	29 16.0%	59 22.6%
5 情報が一人暮らしの高齢者に十分伝わらない	339 40.8%	141 37.1%	198 44.0%	8 47.1%	22 41.5%	36 43.9%	47 38.8%	56 48.7%	78 43.1%	92 35.2%
6 家族が高齢者の世話をすることを避ける	161 19.4%	74 19.5%	87 19.3%	5 29.4%	11 20.8%	15 18.3%	31 25.6%	12 10.4%	38 21.0%	49 18.8%
7 道路の段差解消、エレベーターの設置、その他高齢者が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいない	235 28.3%	112 29.5%	123 27.3%	9 52.9%	11 20.8%	23 28.0%	35 28.9%	32 27.8%	47 26.0%	78 29.9%
8 その他	18 2.2%	12 3.2%	6 1.3%	1 5.9%	3 5.7%	2 2.4%	1 0.8%	0	3 1.7%	8 3.1%
9 分からない	72 8.7%	32 8.4%	40 8.9%	0	7 13.2%	11 13.4%	12 9.9%	12 10.4%	15 8.3%	15 5.7%
無回答	28 3.4%	12 3.2%	16 3.6%	0	1 1.9%	1 1.2%	2 1.7%	2 1.7%	5 2.8%	17 6.5%
回答者計	830	380	450	17	53	82	121	115	181	261

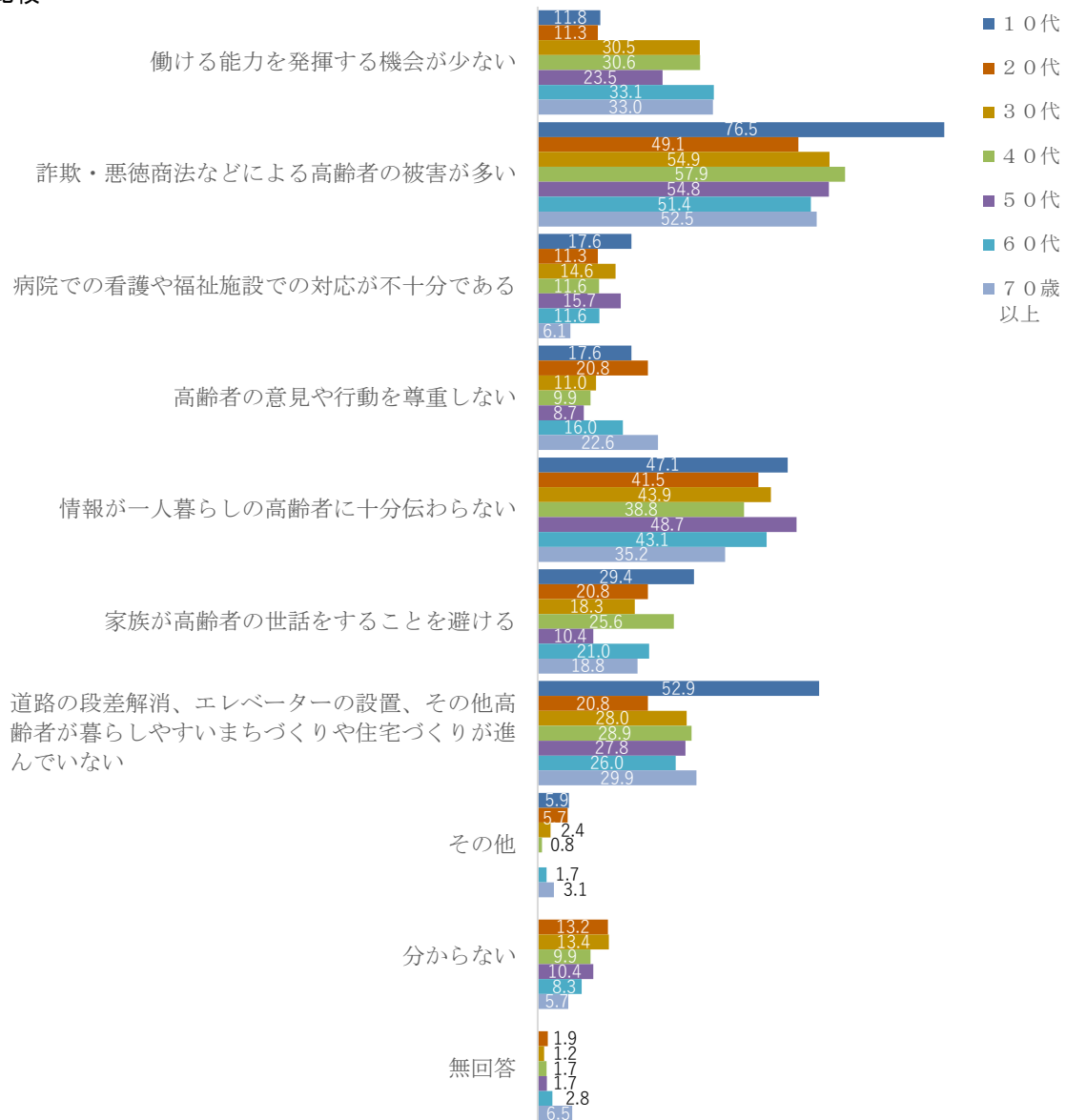
●前回調査との比較



●男女比較



## ●年代比較



## ●選択肢「その他」の内容

- ・言動が遅かったりおかしかったりする際に高齢者のペースになかなか合わせてもらえない
- ・介護現場の手当が不十分
- ・人権は尊重されている
- ・情報のインターネット化による高齢者への伝達不足がある
- ・公的支援が不十分
- ・高齢者本人の自覚が足りない
- ・もっと情報がほしい。昼間は一人、夜も若い人に世話になりたくない
- ・一人暮らしの高齢者は会話をしたくても相手がいないので、話をする場所を提供してほしい
- ・若い人は高齢者の多彩な人生経験を受け入れる姿勢がないように感じる

## 【結果の分析】

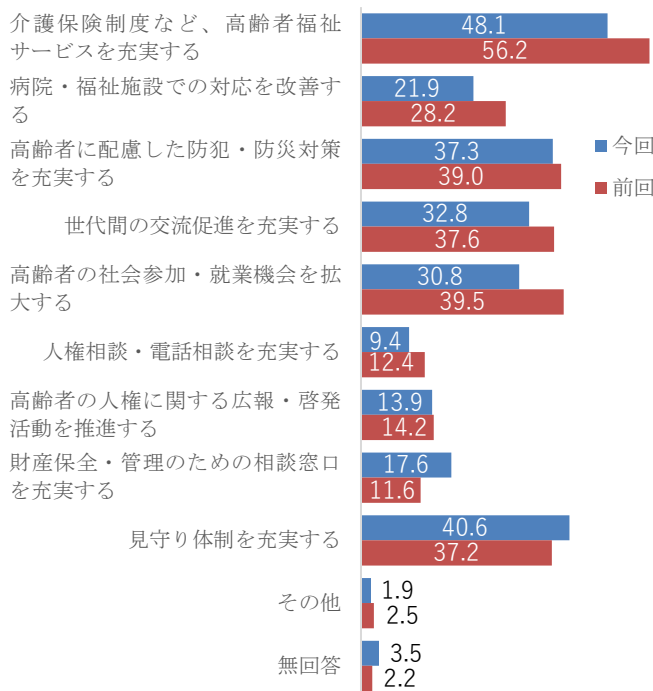
- 前回に引き続き、「悪徳商法による高齢者の被害が多い」が53.9%で最も高く、全ての年代で最も高かった。これは、近年の特殊詐欺や消費者被害の影響が表れているものと思われる。
- 次に高いのは「情報が一人暮らしの高齢者に十分伝わらない」の40.8%であるが、「その他」の自由記述でも高年齢層に対する情報不足の声が寄せられており、情報の伝達方法等を工夫する必要がある。
- 続いて高いのは「働ける能力を発揮する機会が少ない」の29.3%であるが、年代が上がるに従って増加傾向にある。
- また、「道路の段差解消、エレベーターの設置、その他高齢者が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいない」が28.3%と続いた。

問 17 高齢者の人権が尊重されるには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

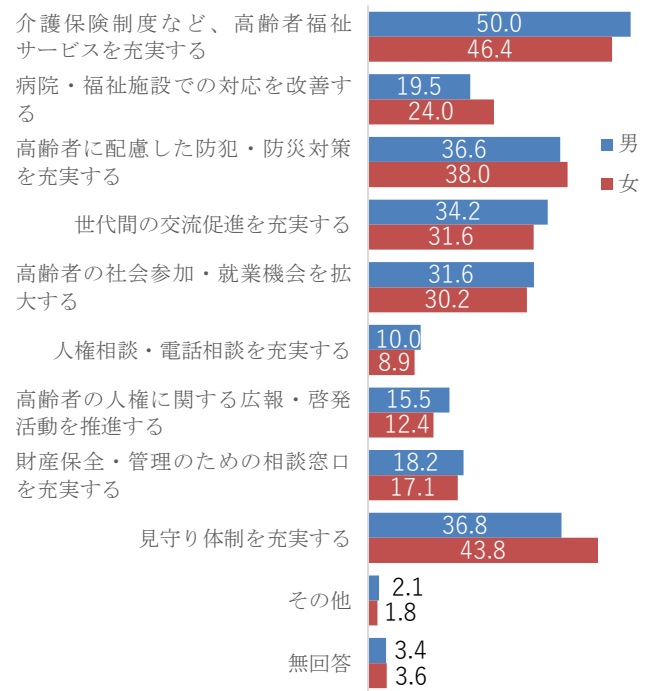
(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代比較						
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1 介護保険制度など、高齢者福祉サービスを充実する	399 48.1%	190 50.0%	209 46.4%	8 47.1%	29 54.7%	37 45.1%	55 45.5%	52 45.2%	92 50.8%	126 48.3%
2 病院・福祉施設での対応を改善する	182 21.9%	74 19.5%	108 24.0%	4 23.5%	9 17.0%	17 20.7%	29 24.0%	28 24.3%	44 24.3%	51 19.5%
3 高齢者に配慮した防犯・防災対策を充実する	310 37.3%	139 36.6%	171 38.0%	8 47.1%	14 26.4%	31 37.8%	44 36.4%	44 38.3%	80 44.2%	89 34.1%
4 世代間の交流促進を充実する	272 32.8%	130 34.2%	142 31.6%	8 47.1%	22 41.5%	30 36.6%	41 33.9%	39 33.9%	59 32.6%	73 28.0%
5 高齢者の社会参加・就業機会を拡大する	256 30.8%	120 31.6%	136 30.2%	4 23.5%	11 20.8%	26 31.7%	35 28.9%	33 28.7%	64 35.4%	83 31.8%
6 人権相談・電話相談を充実する	78 9.4%	38 10.0%	40 8.9%	0	2 3.8%	6 7.3%	12 9.9%	8 7.0%	19 10.5%	31 11.9%
7 高齢者の人権に関する広報・啓発活動を推進する	115 13.9%	59 15.5%	56 12.4%	3 17.6%	6 11.3%	7 8.5%	8 6.6%	11 9.6%	21 11.6%	59 22.6%
8 財産保全・管理のための相談窓口を充実する	146 17.6%	69 18.2%	77 17.1%	4 23.5%	10 18.9%	17 20.7%	26 21.5%	22 19.1%	31 17.1%	36 13.8%
9 見守り体制を充実する	337 40.6%	140 36.8%	197 43.8%	10 58.8%	18 34.0%	34 41.5%	51 42.1%	47 40.9%	80 44.2%	97 37.2%
10 その他	16 1.9%	8 2.1%	8 1.8%	1 5.9%	2 3.8%	2 2.4%	3 2.5%	2 1.7%	4 2.2%	2 0.8%
無回答	29 3.5%	13 3.4%	16 3.6%	0	1 1.9%	1 1.2%	2 1.7%	2 1.7%	5 2.8%	18 6.9%
回答者計	830	380	450	17	53	82	121	115	181	261

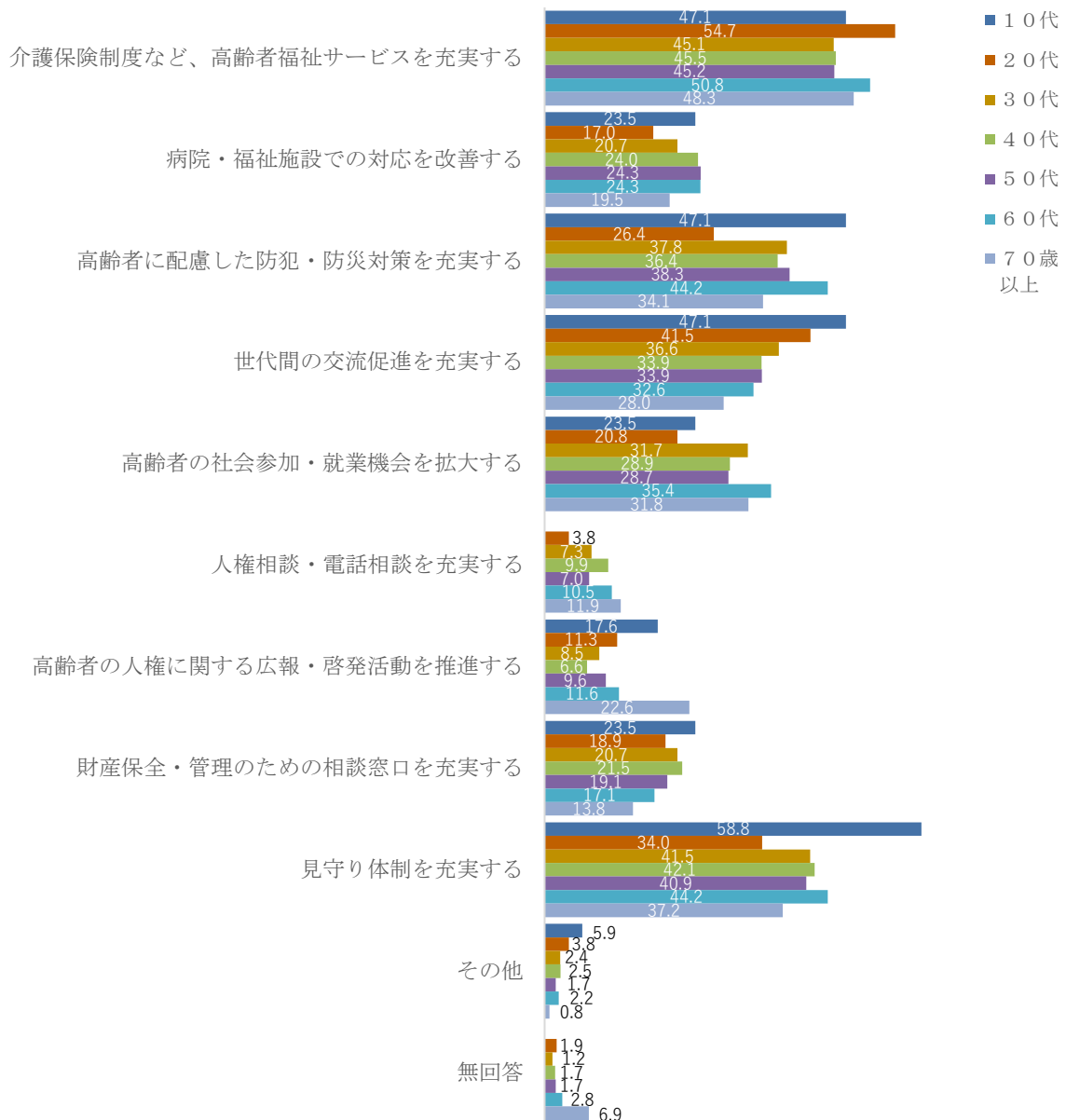
●前回調査との比較



●男女比較



## ●年代比較



## ●選択肢「その他」の内容

- ・高齢者自身の意識を変える事
- ・交通インフラの整備
- ・体に不自由なことがあることを理解できる授業の実施、高齢者体験、介護施設への体験の充実
- ・経済的に福祉サービスが利用できない人がある
- ・高齢者も決まりを守ることが大事
- ・高齢者が自覚すれば良い
- ・高齢者とはどういうものか、子どもたちに教育する時間を増やす
- ・高齢者自身の考え方を変えた方が良い

## 【結果の分析】

- 前回に引き続き、「介護保険制度など、高齢者福祉サービスを充実する」が48.1%で最も高く、「見守り体制を充実する」が40.6%、「高齢者に配慮した防犯・防災対策を充実する」が37.3%と続いており、社会全体で高齢者を支える制度やサービスの構築が求められている。
- 次に、「世代間の交流促進を充実する」が32.8%と高い。高齢者世帯やひとり暮らし高齢者世帯の増加や核家族化の進行に対する必要策が求められている。
- 60代以上では、「人権相談の充実」や「人権啓発の推進」を求める回答率が高いことから、高齢者の人権尊重に向けた体制整備や市民啓発に取り組む必要がある。

問 18 子どもの人権が尊重されていないと感じるのはどのようなときですか。(〇はいくつでも)

(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代比較						
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1 家族が言うことを聞かない子どもに対して、しつけのつもりで体罰を与える	411 49.5%	181 47.6%	230 51.1%	13 76.5%	29 54.7%	39 47.6%	62 51.2%	49 42.6%	94 51.9%	125 47.9%
2 家族が身体的、心理的な虐待をする	438 52.8%	186 48.9%	252 56.0%	13 76.5%	35 66.0%	52 63.4%	75 62.0%	73 63.5%	91 50.3%	99 37.9%
3 子ども同士が暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをしたり、させたりする	456 54.9%	191 50.3%	265 58.9%	12 70.6%	29 54.7%	54 65.9%	76 62.8%	60 52.2%	104 57.5%	121 46.4%
4 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする	419 50.5%	196 51.6%	223 49.6%	9 52.9%	20 37.7%	48 58.5%	67 55.4%	61 53.0%	88 48.6%	126 48.3%
5 学校や就職先の選択などについて、大人が子どもの意見を無視する	243 29.3%	110 28.9%	133 29.6%	10 58.8%	22 41.5%	39 47.6%	37 30.6%	32 27.8%	52 28.7%	51 19.5%
6 保育所や学校で子どもが困っていても十分対応してもらえなかったり、不公平に扱われたりする	314 37.8%	132 34.7%	182 40.4%	12 70.6%	25 47.2%	46 56.1%	58 47.9%	36 31.3%	66 36.5%	71 27.2%
7 児童買春や児童ポルノなどの性的犯罪の対象になる	316 38.1%	126 33.2%	190 42.2%	6 35.3%	21 39.6%	37 45.1%	63 52.1%	46 40.0%	64 35.4%	79 30.3%
8 インターネットやスマートフォンを悪用した行為の対象になる	318 38.3%	150 39.5%	168 37.3%	2 11.8%	17 32.1%	44 53.7%	59 48.8%	50 43.5%	79 43.6%	67 25.7%
9 その他	9 1.1%	6 1.6%	3 0.7%	1 5.9%	1 1.9%	1 1.2%	2 1.7%	1 0.9%	2 1.1%	1 0.4%
10 分からない	55 6.6%	26 6.8%	29 6.4%	0	4 7.5%	7 8.5%	7 5.8%	5 4.3%	13 7.2%	19 7.3%
無回答	29 3.5%	13 3.4%	16 3.6%	0	1 1.9%	0	1 0.8%	2 1.7%	6 3.3%	19 7.3%
回答者計	830	380	450	17	53	82	121	115	181	261

●前回調査との比較

家族が言うことを聞かない子どもに対して、しつけのつもりで体罰を与える

家族が身体的、心理的な虐待をする

子ども同士が暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをしたり、させたりする

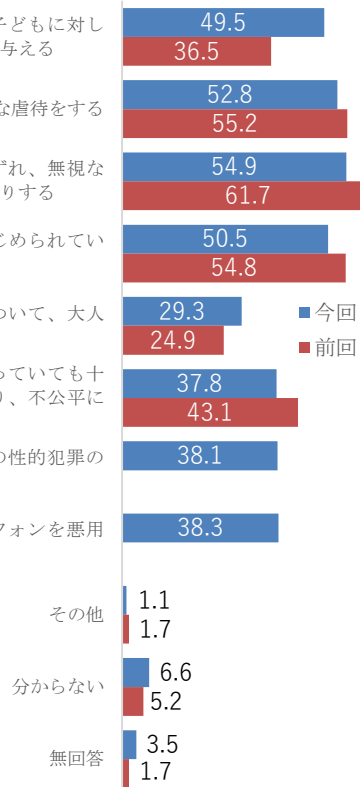
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする

学校や就職先の選択などについて、大人が子どもの意見を無視する

保育所や学校で子どもが困っていても十分対応してもらえなかったり、不公平に扱われたりする

児童買春や児童ポルノなどの性的犯罪の対象になる

インターネットやスマートフォンを悪用した行為の対象になる



●男女比較

家族が言うことを聞かない子どもに対して、しつけのつもりで体罰を与える

家族が身体的、心理的な虐待をする

子ども同士が暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをしたり、させたりする

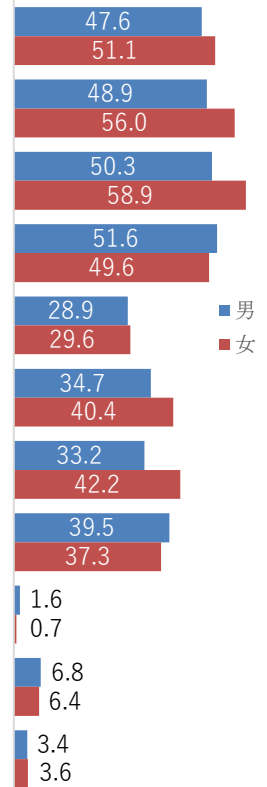
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする

学校や就職先の選択などについて、大人が子どもの意見を無視する

保育所や学校で子どもが困っていても十分対応してもらえなかったり、不公平に扱われたりする

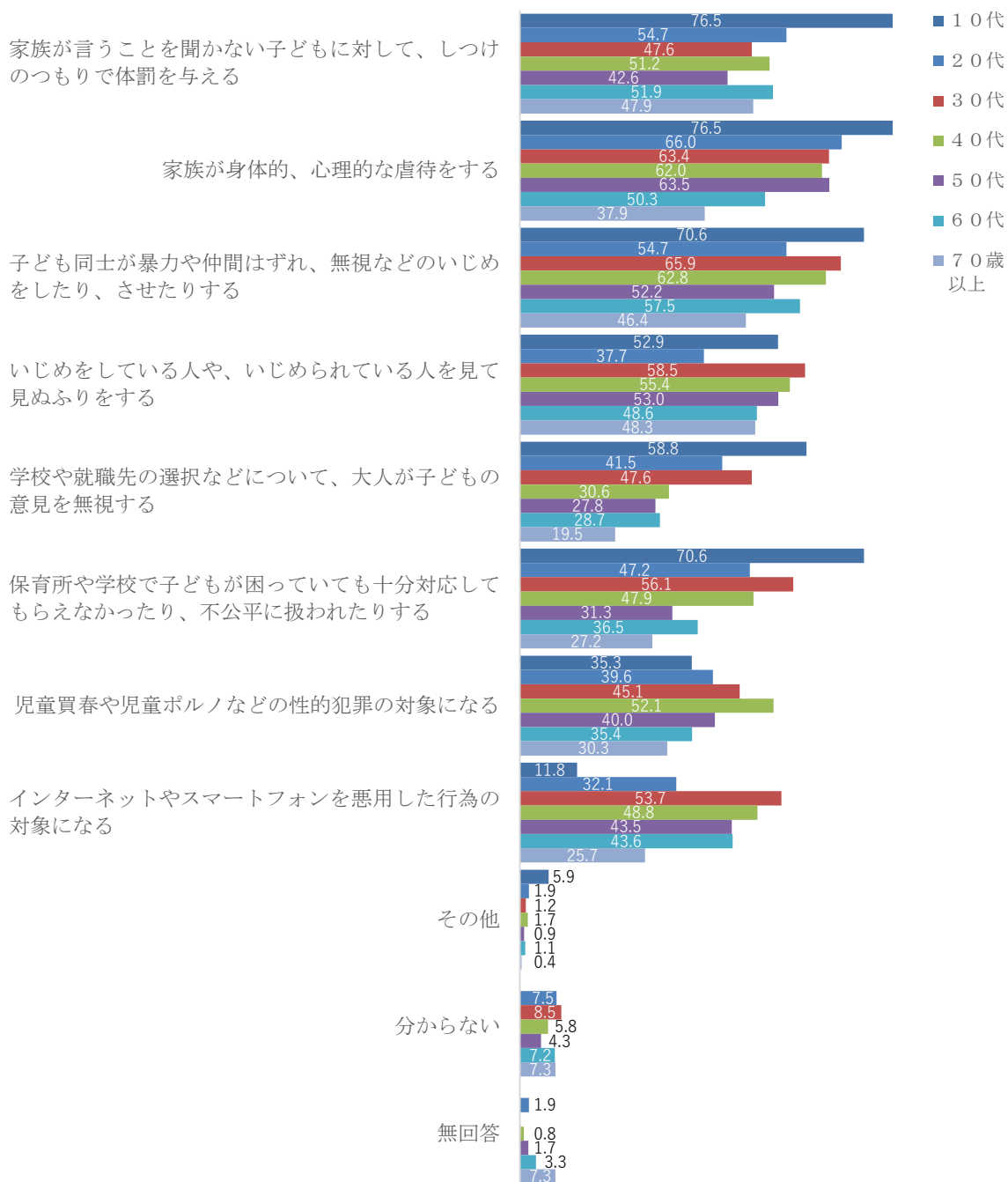
児童買春や児童ポルノなどの性的犯罪の対象になる

インターネットやスマートフォンを悪用した行為の対象になる





## ●年代比較



## ●選択肢「その他」の内容

- ・大人が成熟していない社会になっている。我慢ができない大人が多過ぎる。高学歴でも成熟していない。多様な意見を受け入れられないようになってきている
- ・インターネットなどで子どもが頭でっかちになりいじめ等が多くなる
- ・子どもの人格は親の責任である

## 【結果の分析】

- 総じて各選択肢の回答率が高く、「子ども同士のいじめ」が 54.9%で最も高く、次に「家族間の虐待」が 52.8%となった。
- 今回から選択肢に加えた「性的犯罪の対象となる」と「デジタル機器の悪用対象となる」についても、それぞれ 38%程度の回答率で特に親世代の 30代と 40代が高い傾向にある。
- 「保育園や学校の不十分な対応」も 37.8%と比較的高いことから、家庭と学校や保育園との連携強化が求められている。
- また、学校や保育園における人権教育の一層の充実を図るとともに、引き続き子どもの人権侵害に対する早期発見や発生時の早期救済、擁護、子どもの育ちを支えるための親支援などの予防施策に取り組む必要がある。

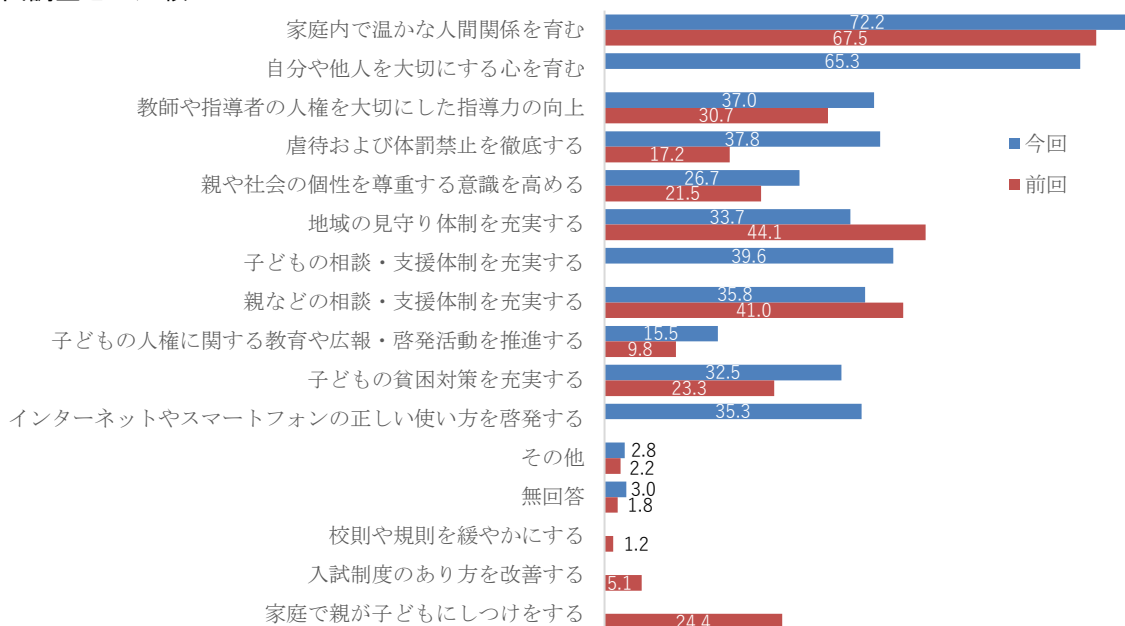


問 19 子どもの人権が侵害される事件が相次いでいますが、子どもの人権を守るためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

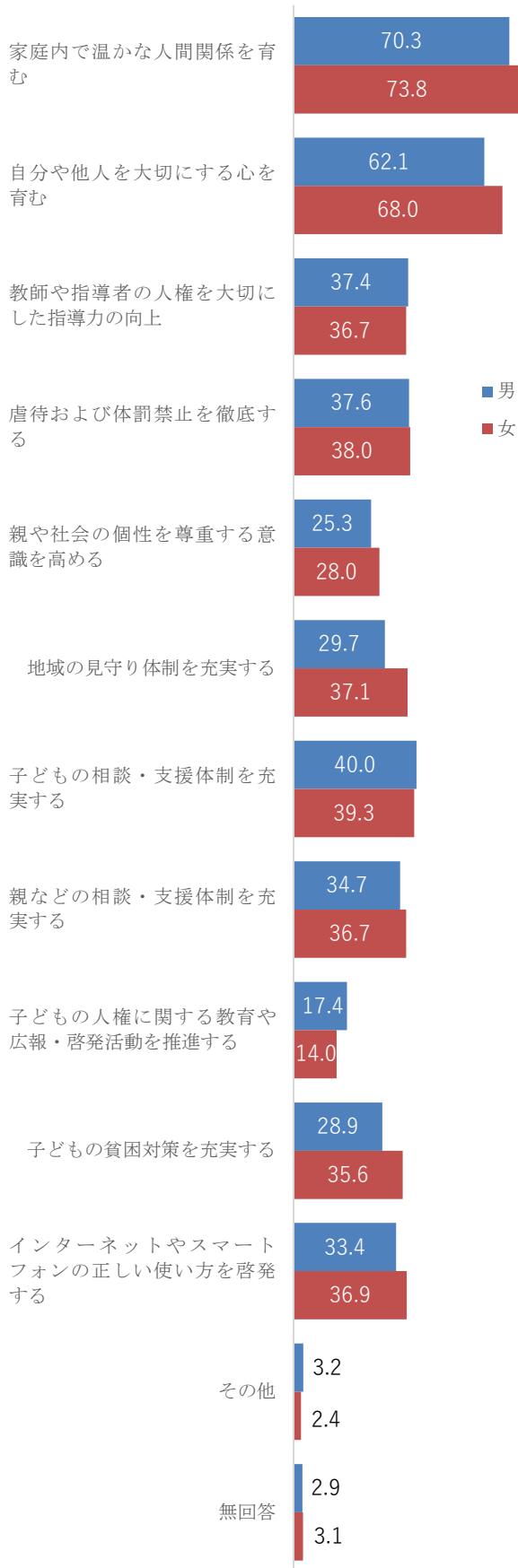
(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代比較							
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
1 家庭内で温かな人間関係を育む	599 72.2%	267 70.3%	332 73.8%	10 58.8%	32 60.4%	54 65.9%	84 69.4%	79 68.7%	141 77.9%	199 76.2%	
2 自分や他人を大切に にする心を育む	542 65.3%	236 62.1%	306 68.0%	10 58.8%	28 52.8%	60 73.2%	88 72.7%	70 60.9%	121 66.9%	165 63.2%	
3 教師や指導者の人権を大切に した指導力の向上	307 37.0%	142 37.4%	165 36.7%	8 47.1%	17 32.1%	34 41.5%	46 38.0%	43 37.4%	70 38.7%	89 34.1%	
4 虐待および体罰禁止を徹底する	314 37.8%	143 37.6%	171 38.0%	8 47.1%	26 49.1%	36 43.9%	45 37.2%	38 33.0%	71 39.2%	90 34.5%	
5 親や社会の個性を尊重する意識を高める	222 26.7%	96 25.3%	126 28.0%	7 41.2%	14 26.4%	27 32.9%	36 29.8%	28 24.3%	51 28.2%	59 22.6%	
6 地域の見守り体制を充実する	280 33.7%	113 29.7%	167 37.1%	11 64.7%	11 20.8%	39 47.6%	37 30.6%	43 37.4%	61 33.7%	78 29.9%	
7 子どもの相談・支援体制を充実する	329 39.6%	152 40.0%	177 39.3%	9 52.9%	22 41.5%	38 46.3%	43 35.5%	48 41.7%	67 37.0%	102 39.1%	
8 親などの相談・支援体制を充実する	297 35.8%	132 34.7%	165 36.7%	7 41.2%	20 37.7%	39 47.6%	49 40.5%	44 38.3%	67 37.0%	71 27.2%	
9 子どもの人権に関する教育や広報・啓発活動を推進する	129 15.5%	66 17.4%	63 14.0%	2 11.8%	5 9.4%	12 14.6%	15 12.4%	16 13.9%	29 16.0%	50 19.2%	
10 子どもの貧困対策を充実する	270 32.5%	110 28.9%	160 35.6%	4 23.5%	13 24.5%	33 40.2%	52 43.0%	37 32.2%	68 37.6%	63 24.1%	
11 インターネットやスマートフォンの正しい使い方を啓発する	293 35.3%	127 33.4%	166 36.9%	7 41.2%	17 32.1%	32 39.0%	59 48.8%	35 30.4%	70 38.7%	73 28.0%	
12 その他	23 2.8%	12 3.2%	11 2.4%	1 5.9%	3 5.7%	3 3.7%	8 6.6%	1 0.9%	4 2.2%	3 1.1%	
無回答	25 3.0%	11 2.9%	14 3.1%	0	1 1.9%	0	1 0.8%	2 1.7%	4 2.2%	17 6.5%	
回答者計	830	380	450	17	53	82	121	115	181	261	

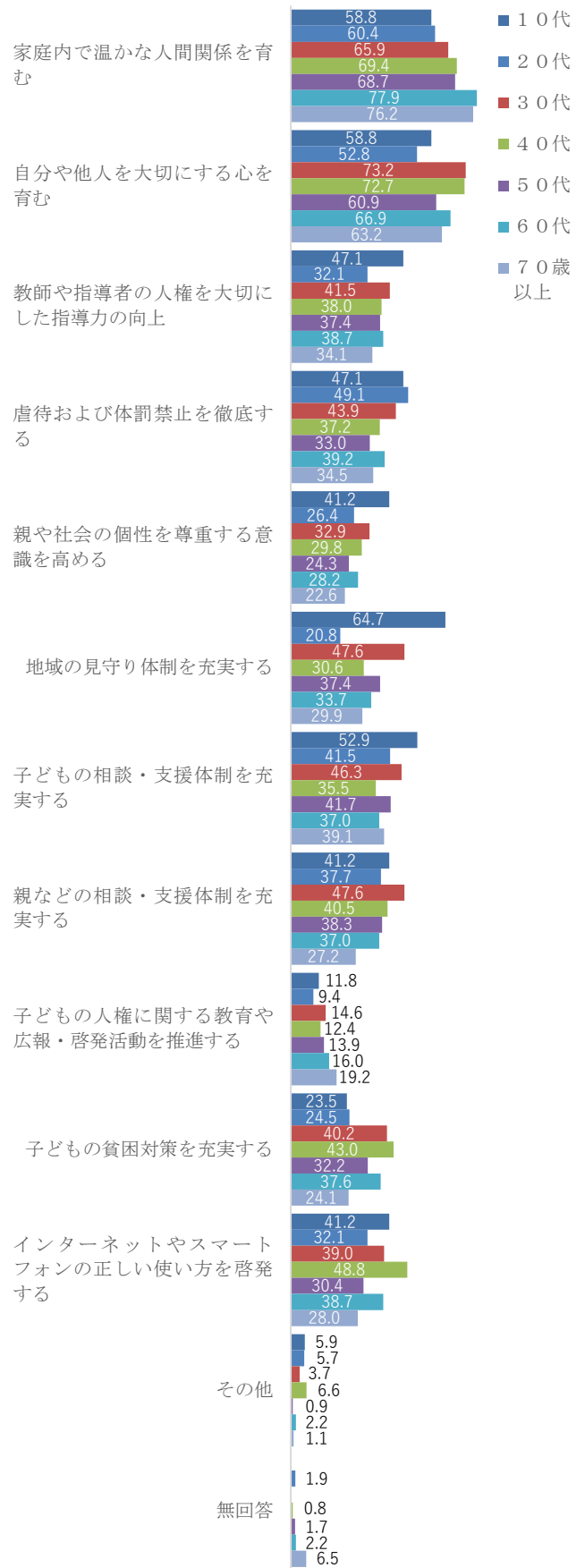
●前回調査との比較



●男女比較



●年代比較



## ●選択肢「その他」の内容

- ・ 個々人の理解を深める
- ・ 家庭でも自分や他の人の人権を守る大切さを教える
- ・ 教師や指導者への適性検査を厳しく且つ精度良く行うシステム作り
- ・ 子どもを持つ前に子どもとの関わりを増やすべき。シングルマザーや親がいない子どもに対しての支援を充実させる
- ・ 児童相談所などの機関の人員補充、指導力の向上、問題児ではなく問題のある親への対応強化
- ・ 大人が子どもだ
- ・ テレビのあり方の検討
- ・ 子どもが生きていて楽しい、これは面白いと感じることの提供
- ・ 社会が成熟していない
- ・ せめて中学生まではスマホ等の禁止
- ・ 無責任な親をつくらない社会が必要
- ・ 体操着、制服など昔ながらの「統一」という考えをやめるべき
- ・ 自分中心な親の考え方を変える
- ・ いじめが発生した場合、直ちに警察へ連絡する体制をつくる
- ・ まずは自分が親になり子どもを育てることの大切さを教えていく
- ・ 人生経験の豊富な教師が必要
- ・ 温かく育てられないのなら子どもはつukらないこと

## 【結果の分析】

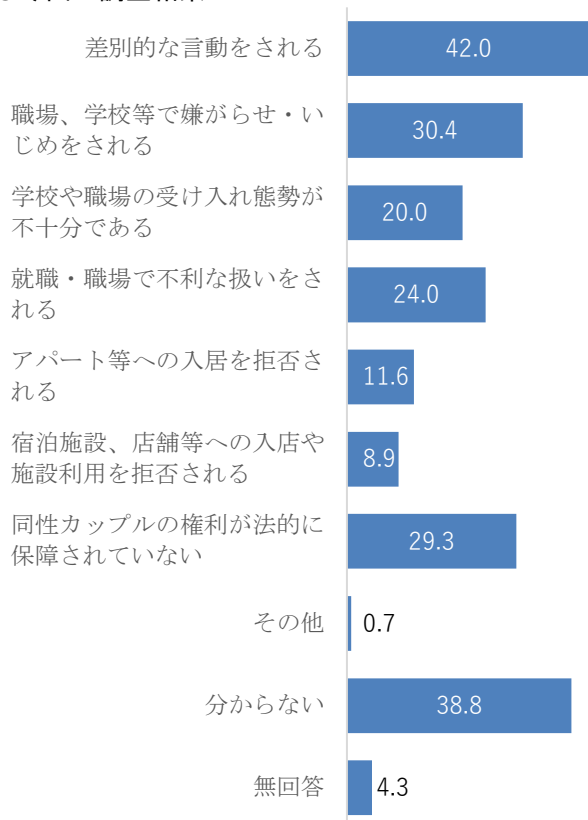
- 前回に引き続き、「家庭内で暖かな人間関係を育む」が 72.2%で最も高く、年代が上がるに従って増加傾向にある。
- 次に高いのは、今回から選択肢に加えた「自分や他人を大切にすることを育む」が 65.3%であり、以降「相談体制の充実」や「体罰禁止の徹底」「教師の指導力の向上」等が上位となった。
- また、新たに選択肢として設けた「インターネットやスマートフォンの正しい使い方を啓発する」も 35.3%と子どもに与える影響としての関心が高い。
- 上記から、引き続き人権を大切に作る人間関係づくりや心情を育む取組を進めながら、学校や行政機関、地域の必要な体制整備と実効ある施策に取り組む必要がある。

問 20 性的少数者（同性愛、両性愛、心と身体の性の不一致など）の人権が守られていないと感じるのはどのようなときですか。（〇はいくつでも）

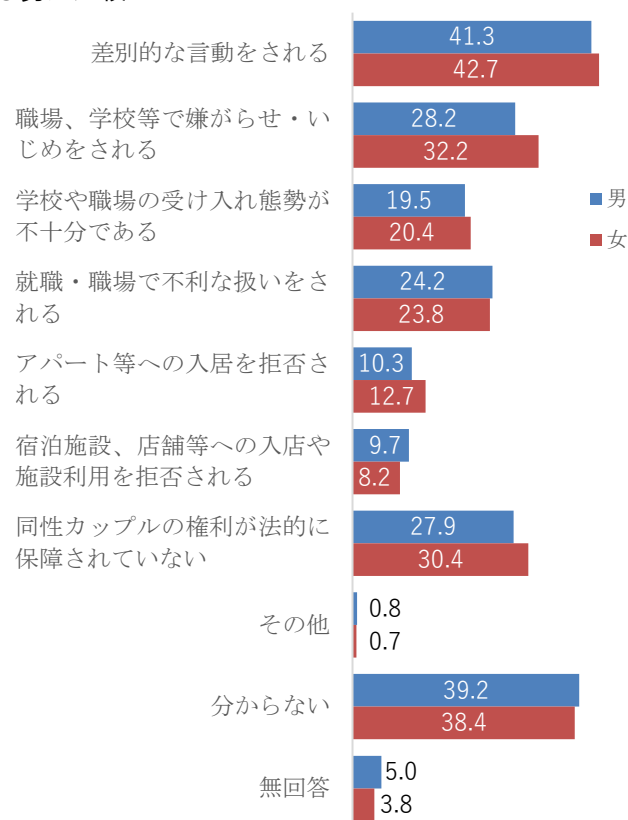
（上段：回答数、下段：回答率）

選択肢	全体	男女比較		年代比較						
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1 差別的な言動をされる	349 42.0%	157 41.3%	192 42.7%	15 88.2%	36 67.9%	54 65.9%	65 53.7%	51 44.3%	66 36.5%	62 23.8%
2 職場、学校等で嫌がらせ・いじめをされる	252 30.4%	107 28.2%	145 32.2%	14 82.4%	26 49.1%	43 52.4%	48 39.7%	24 20.9%	46 25.4%	51 19.5%
3 学校や職場の受け入れ態勢が不十分である	166 20.0%	74 19.5%	92 20.4%	6 35.3%	14 26.4%	28 34.1%	31 25.6%	21 18.3%	32 17.7%	34 13.0%
4 就職・職場で不利な扱いをされる	199 24.0%	92 24.2%	107 23.8%	6 35.3%	17 32.1%	37 45.1%	37 30.6%	15 13.0%	40 22.1%	47 18.0%
5 アパート等への入居を拒否される	96 11.6%	39 10.3%	57 12.7%	4 23.5%	5 9.4%	21 25.6%	20 16.5%	7 6.1%	22 12.2%	17 6.5%
6 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否される	74 8.9%	37 9.7%	37 8.2%	3 17.6%	6 11.3%	18 22.0%	15 12.4%	11 9.6%	12 6.6%	9 3.4%
7 同性カップルの権利が法的に保障されていない	243 29.3%	106 27.9%	137 30.4%	11 64.7%	28 52.8%	44 53.7%	48 39.7%	25 21.7%	43 23.8%	44 16.9%
8 その他	6 0.7%	3 0.8%	3 0.7%	0	0	1 1.2%	0	1 0.9%	0	4 1.5%
9 分からない	322 38.8%	149 39.2%	173 38.4%	0	8 15.1%	18 22.0%	30 24.8%	50 43.5%	86 47.5%	130 49.8%
無回答	36 4.3%	19 5.0%	17 3.8%	0	1 1.9%	0	2 1.7%	2 1.7%	4 2.2%	27 10.3%
回答者計	830	380	450	17	53	82	121	115	181	261

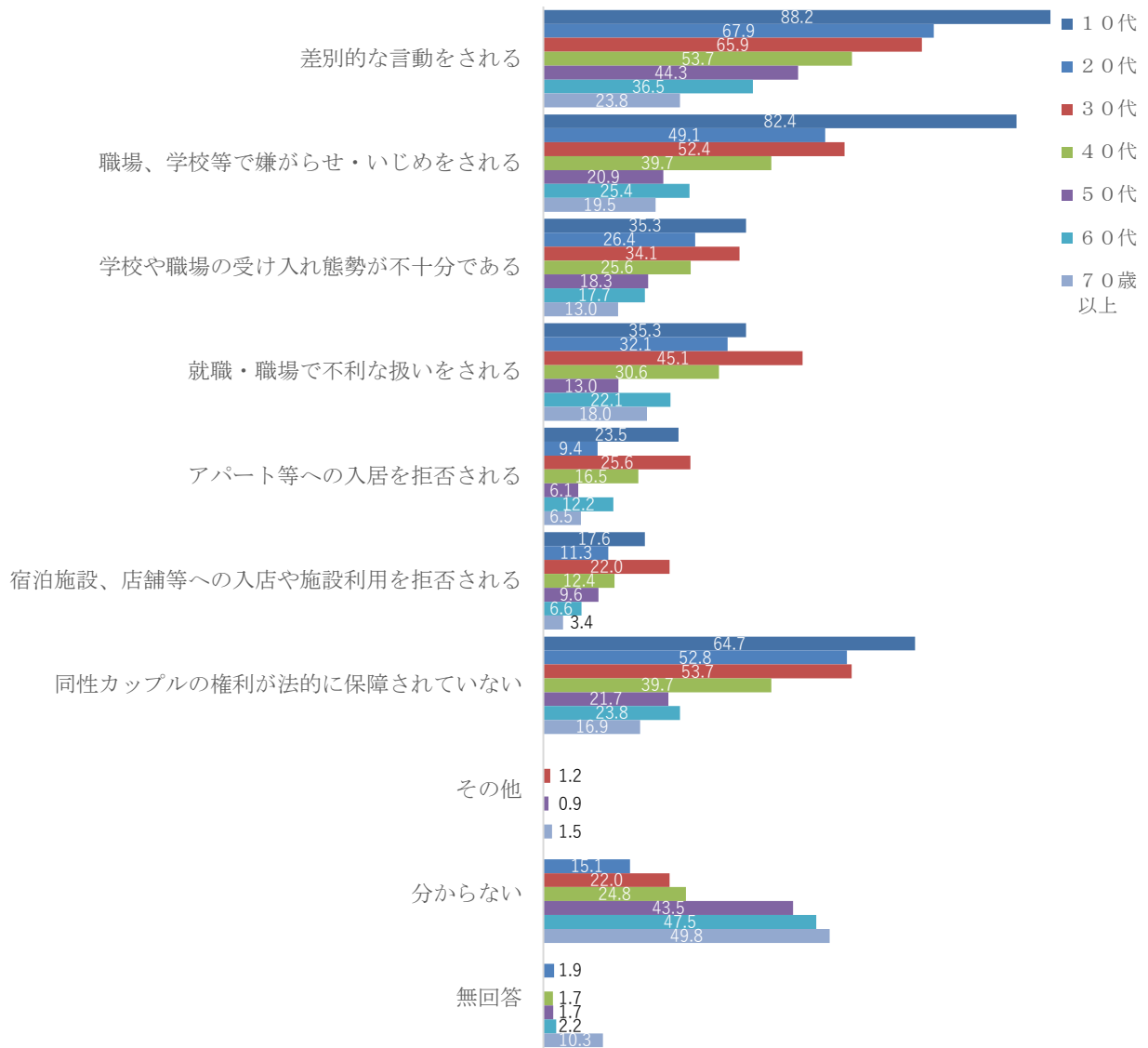
● 今回の調査結果



● 男女比較



## ●年代比較



## ●選択肢「その他」の内容

- ・上越市にもLGBTの方々がいると思うので、わざわざ東京とかにいかなくても婚姻届が出せるようにする。結婚式もできるようにしてあげる
- ・特性を生かして伸ばすこと
- ・近くにそう言う人がいないので分からない
- ・対象者がいない

## 【結果の分析】

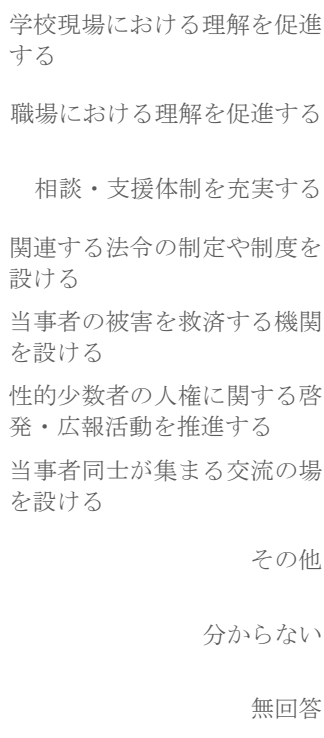
- 性的少数者については、近年、顕在化している人権問題であることから、新たに設問を設けたもの。
- 「差別的な言動をされる」が42.0%で最も高く、次に高いのは「職場、学校等で嫌がらせ・いじめをされる」の30.4%であった。
- 続いて「権利が法的に保障されていない」が29.3%となり、法律・制度面での課題を感じている市民が多く存在する結果となった。
- 男女間の差異はあまり見られないが、年代別では若年層ほど人権問題に理解を示す一方で、50代以上は「分からない」が40%を超えており、年代が上がるに従って性的少数者に対する理解が薄い結果となった。
- また、年代比較では若年層を中心に性的少数者の人権への関心が高いことから、今後、正しい理解を深めるための若年層向けの啓発に取り組む必要がある。

問 21 性的少数者の人権を守るためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

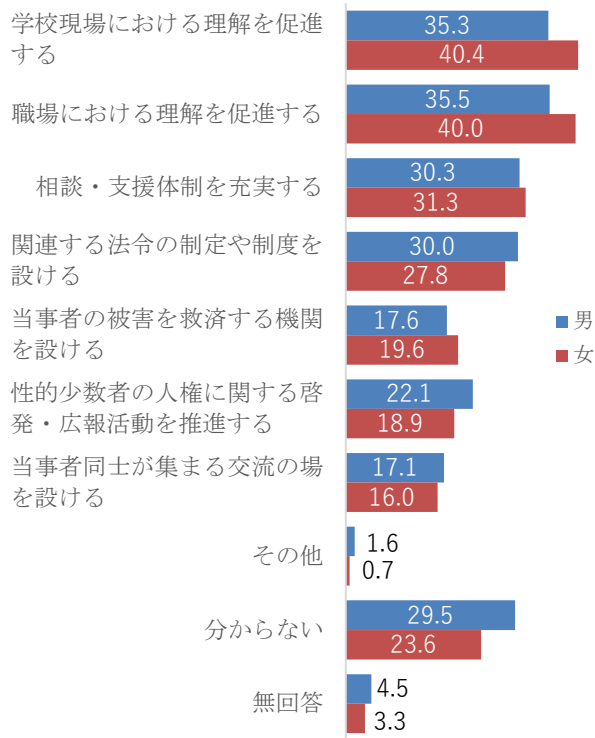
(上段：回答数、下段：回答率)

選択肢	全体	男女比較		年代比較							
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
1 学校現場における理解を促進する	316 38.1%	134 35.3%	182 40.4%	11 64.7%	28 52.8%	43 52.4%	60 49.6%	40 34.8%	68 37.6%	66 25.3%	
2 職場における理解を促進する	315 38.0%	135 35.5%	180 40.0%	11 64.7%	28 52.8%	47 57.3%	52 43.0%	41 35.7%	64 35.4%	72 27.6%	
3 相談・支援体制を充実する	256 30.8%	115 30.3%	141 31.3%	6 35.3%	17 32.1%	28 34.1%	38 31.4%	24 20.9%	62 34.3%	81 31.0%	
4 関連する法令の制定や制度を設ける	239 28.8%	114 30.0%	125 27.8%	9 52.9%	23 43.4%	40 48.8%	48 39.7%	35 30.4%	40 22.1%	44 16.9%	
5 当事者の被害を救済する機関を設ける	155 18.7%	67 17.6%	88 19.6%	4 23.5%	18 34.0%	15 18.3%	23 19.0%	20 17.4%	31 17.1%	44 16.9%	
6 性的少数者の人権に関する啓発・広報活動を推進する	169 20.4%	84 22.1%	85 18.9%	4 23.5%	12 22.6%	16 19.5%	26 21.5%	21 18.3%	38 21.0%	52 19.9%	
7 当事者同士が集まる交流の場を設ける	137 16.5%	65 17.1%	72 16.0%	10 58.8%	14 26.4%	25 30.5%	21 17.4%	14 12.2%	27 14.9%	26 10.0%	
8 その他	9 1.1%	6 1.6%	3 0.7%	1 5.9%	3 5.7%	2 2.4%	1 0.8%	1 0.9%	0	1 0.4%	
9 分からない	218 26.3%	112 29.5%	106 23.6%	0	6 11.3%	8 9.8%	19 15.7%	34 29.6%	55 30.4%	96 36.8%	
無回答	32 3.9%	17 4.5%	15 3.3%	0	1 1.9%	0	2 1.7%	2 1.7%	4 2.2%	23 8.8%	
回答者計	830	380	450	17	53	82	121	115	181	261	

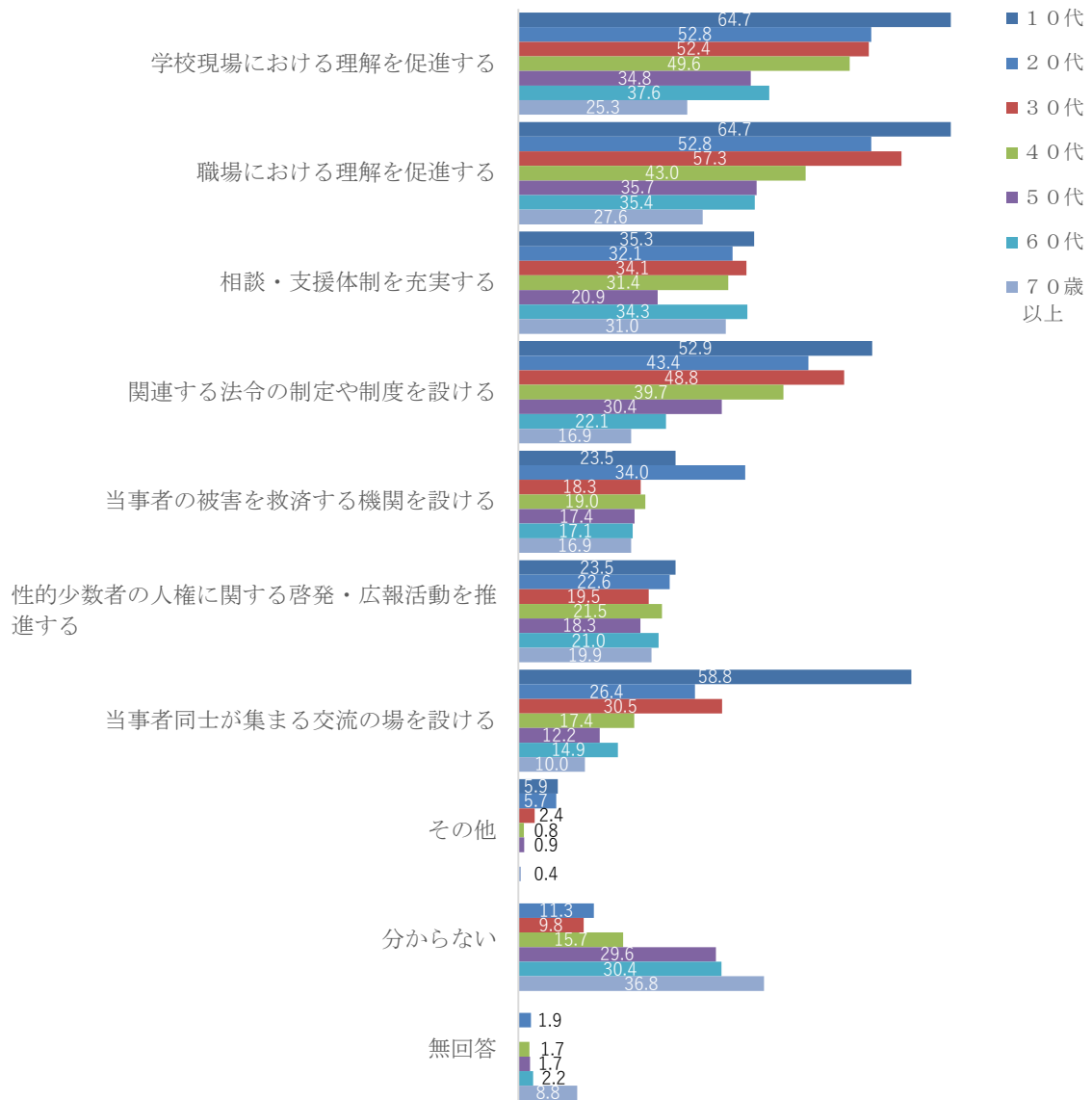
●今回の調査結果



●男女比較



## ●年代比較



## ●選択肢「その他」の内容

- ・特別扱いではなく、普通に接するだけで十分だと思う
- ・理解を促進する（個人）
- ・必要ない
- ・学校だけでなく、大人の理解を促進するべき。学校で扱いにくいイメージがあるかもしれないが、迷っている子どもはいると思うので、学校と地域が一緒になって講演会か授業機会をつくる必要がある
- ・実態が分からない社会状況
- ・移住区をつくる
- ・社会全体の理解の促進
- ・異性婚の特権をなくす（異性カップルの特権をなくす）

## 【結果の分析】

- 「学校現場における理解促進」が38.1%で最も高く、次に高いのは「職場における理解促進」の38.0%と、性的少数者に対する正しい理解を促す回答が多かった。
- 続いて、「相談・支援体制の充実」が30.8%、「法や制度の整備」が28.8%と、国や自治体の対応を促す回答が上位となった。
- 前問と同様に男女間の差異はあまり見られないが、年代別では若年層ほど人権問題に理解を示し、高年層ほど「分からない」が多かった。
- 「その他」の自由記述からも、性的少数者に対する偏見や差別意識を持つ人も見受けられることから、まずは正しい知識の普及啓発に取り組む必要がある。